CASSIOPEIA E-503
ハードウェア取扱説明書
保証書別添

ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も大切に保管してください。

CASIO

J

Microsoft, Windows, Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Pentiumは米国Intel Corporationの登録商標または商標です。

コンパクトフラッシュは、米国SanDisk Corporationの商標です。

その他本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスBの情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機は日本専用機で、海外での使用は考慮されておりません。したがって、海外での使用はお薦めできません。国によっては、持ち込み禁止になったり使用禁止になることが考えられます。

安全上のご注意

このたびは本機をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

絵表示の例

⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

健康上の安全に関するご注意

⚠ **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 疲れた状態で、連続して長時間にわたるご使用は、健康上好ましくありませんので、避けてください。

⚠ **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 長時間操作をするときは、適度に休憩してください。
  目安として1時間ごとに10分から15分の小休止をとってください。

使用上の安全に関するご注意

⚠ **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常な状態にご注意ください
- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜き電池を外して、お買上げの販売店または、カシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。

水、異物はさけてください
- 万一異物（金属片、水、液体）が製品内部に入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜き、電池を取り外して、お買上げの販売店または、カシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。

本機を落とさないでください
- 万一、本機を落としたり、強い衝撃を与え、本機を破壊した場合は、電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜き、電池を外して、お買上げの販売店または、カシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

分解しないでください
- 本機を分解・改造しないでください。火災・けがの原因となります。

磁気について

- ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部（胸のポケット）より離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることも考えられます。
  万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

⚠ **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

メモリ保護

- 本機に記憶させた内容は、パソコン等に常に記憶させ、本機とは別に控えを残してください。電池消耗などにより、記憶内容が変化したり、消えることがあります。また、本機の故障、修理などのときに記憶内容が失われます。

設置場所について

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かないでください

- ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

磁気について

- 本機はスピーカーを使用しており、磁気を帯びております。磁気カード（キャッシュカードやプリペイドカード）と一緒に持ち歩いたり保管したりしないでください。
磁気カードが使用できなくなることがあります。
- 本機はスピーカーを使用しており、磁気を帯びております。テレビ等磁気の影響を受ける製品の上に置かないでください。

電池のご注意

⚠ **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ボタン電池は、充電や分解・ショートの恐れのあることはしないでください。また、ハンダ付けや加熱したり、火の中や水の中へ投入したりしないでください。

- 本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意願います。
- 電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- 電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の破壊や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。
  - 極性（＋と－の向き）に注意して正しく入れてください。
  - 長時間使用しないときは、本体から電池を取り外しておいてください。
  - 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

ACアダプタ使用上のご注意

 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 指定された電源電圧(日本国内では交流１００Ｖ)以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破壊したりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱しないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 万一電源コードが傷ついたら（芯線の露出，断線など）、お買上げの販売店または、カシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。火災・感電の原因となります。

- ACアダプタは必ず専用の物をお使いください。専用以外のACアダプタを使用すると、充電池パックが破裂することがあり、火災・けがの原因となります。

⚠ **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ACアダプタをコンセントから抜くときは、必ずACアダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 旅行などで長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。
- ACアダプタは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺を部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。
- 製品本体を移動させる場合は、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

充電池パックのご注意

⚠ **危険** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫って生じることが想定される内容を示しています。

- 充電池パックを分解したり、改造をしないでください。充電池パックには、危険を防止するための機構や保護装置が組み込まれています。これらを損なうと、火災や、発熱・破裂によるけがの原因となります。
- （＋）と（－）をショートさせないでください。また，金属製のネックレスやヘヤピンなど、金属製の物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。充電池パックがショート状態になり、火災や発熱・破裂によるけがの原因となります。
- 充電池パックを火のそば・ストーブのそばなどの高温の場所（８０℃以上）で使用したり、放置しないでください。火災や破裂によるけがの原因となります。
- ストーブのそばや直射日光の当たる場所や炎天下の車中などでの充電はしないでください。高温になると、安全装置が働き、充電できなくなったり、異常な化学反応が起こり、火災や破裂によるけがの原因となります。
- 充電池パックを釘で刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、投げつけたりしないでください。充電池が内部でショートし、火災や破壊の原因となります。
- 外傷・変形の著しい充電池パックは使用しないでください。
火災や、発熱・破裂によるけがの原因となります。
- 充電池パックは本機以外では使わないでください。
異常な電流が流れたりし、充電池パックの破損や破裂・火災の原因となります。
- 万一充電池パックから異臭や液もれがするときは、直ちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、火災・破裂によるけがの原因となります。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 充電池パックを加熱したり、火の中や水・海水の中へ投入したりしないでください。安全機構を損傷したり、保護装置が破壊したり、電解液に引火したりし、火災や破裂によるけがの原因となります。
- 充電池パックからもれた液が目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。
- 充電の際に所定時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。火災や、発熱・破裂によるけがの原因となります。

•液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
•動画・デジタルカメラ・音楽等大きな電力が必要な動作を長くご使用になると本体が暖かくなりますが、これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

ご使用上の注意

本機は精密機器です。使いかたを誤ったり乱暴に扱うと、データが正常に保存できなくなったり故障することがあります。次の注意をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いください。

● 電池が消耗した状態で使い続けないでください。
データが消えたり変化することがあります。電池が消耗したら、すぐに電池を充電してください。

● 消耗した電池を入れたまま、長時間放置しないでください。
電池が液もれすることがあります。液もれは本機の故障・破損の原因になることがあります。

● 次のような条件でご使用ください。
- 温度0℃〜40℃
- 結露しないこと

上記の範囲外で使用すると故障の原因となります。

● 次のような場所での使用は避けてください。
本機の故障・破損の原因になります。
- 静電気が発生しやすいところ
- 極端に高温または低温のところ
- 湿度の高いところ
- 急激な温度変化が起こるところ
- ほこりの多いところ

● 本機の上には重いものをのせないようにしてください。

● 本機を分解しないでください(故障の原因になります)。

● コネクタやスロットなどに異物を入れたり差し込まないでください。

● 本機に飲み物や水などをこぼさないでください。

● タッチスクリーンやリセットボタンは、必ず専用のスタイラス(ペン)で操作してください。

● スタイラス(ペン)以外でのタッチスクリーン操作はお避けください。タッチスクリーンがキズついたり、動作上の障害が発生することがあります。

● 本機の清掃に、シンナー、ベンジンや化粧品などの揮発性の薬剤を使わないでください。本機が汚れたときは、乾いた布か中性洗剤に浸して固くしぼった布で拭いてください。

● 画面の明るさを明るくしたりコンパクトフラッシュカードを頻繁にご使用になると、電池寿命は所定の時間よりも短くなります。

● 持ち運ぶときはタッチスクリーンや表示部の保護のためソフトケースに正しく入れてお使いください。

目次

■ はじめて使う際の準備

本機のセットアップ

パッケージの開封後はじめて本機を使うときは、次の手順で本機のセットアップを行ってください。

1. メイン電池を取り付けます（31ページ参照）。

注意⚠
最初に必ずメイン電池を取り付け、充電してください。バックアップ電池を先に取り付けると、本機は正常に起動しません。

2. ACアダプタを接続して充電します。

3. 充電完了後、バックアップ電池を取り付けます。

4. 電源ボタンを押して電源を入れます。

5. 画面が以下のように推移します。
   (1) 起動画面
   (2) タッチスクリーンの補正画面

6. 画面の指示に従って、本機の初期設定を順次行ってください。
   - ここで実行した各種の初期設定は、後から随時変更することができます。くわしくは、「パームサイズPCユーザーズガイド」を参照してください。
   - 設定が終了すると、デスクトップ画面が表示されます。

以上で最初のセットアップ作業は完了しました。

- 本機をすぐに使いたい場合は、本書を含め添付の各説明書を参照して、操作を行ってください。「各説明書の使いかた」（13ページ）も参照してください。
- 操作を終了したら、電源ボタンを押して電源をOFFにしてください。

注意⚠
- もし画面をタップしても反応しなかったり、画面に何も表示されない場合は、まず「フルリセット（メモリの初期化）」を実行してください（37ページ参照）。フルリセットを実行しても正しく動作しない場合は、メイン電池とバックアップ電池をともに取り外し、約5分間放置した後、メイン電池→バックアップ電池の順に取り付け、5秒放置後上記の手順4からやり直してください。
- 電池を取り付ける際は、常に電池の向きにご注意ください。
- 「メモリ内容の一部に不正な状態を検出しました…」というメッセージが画面に表示された場合は、フルリセットを実行してください（37ページ参照）。

各説明書の使いかた

本機には、印刷物の説明書として「ハードウェア取扱説明書」（本書）と「パームサイズPCユーザーズガイド」「CASSIOPEIAアプリケーションガイド」が付属しています。まず本書からお読みください。
以下、本機のさまざまな使いかたを知りたいときに、どのマニュアルのどの部分を参照すれば良いかを示します。

この説明書を読んで本機を使うための準備ができたら？
「CASSIOPEIAアプリケーションガイド」、「パームサイズPCユーザーズガイド」をお読みください。本機のいろいろな使いかたを説明しています。

説明書の通りに操作してうまくいかなかったら？
故障とお考えになる前に、この説明書の「故障かな？と思ったら」（39ページ）をお読みになり、もう一度操作してみてください。「パームサイズPCユーザーズガイド」のトラブルシューティングもあわせてご参照ください。

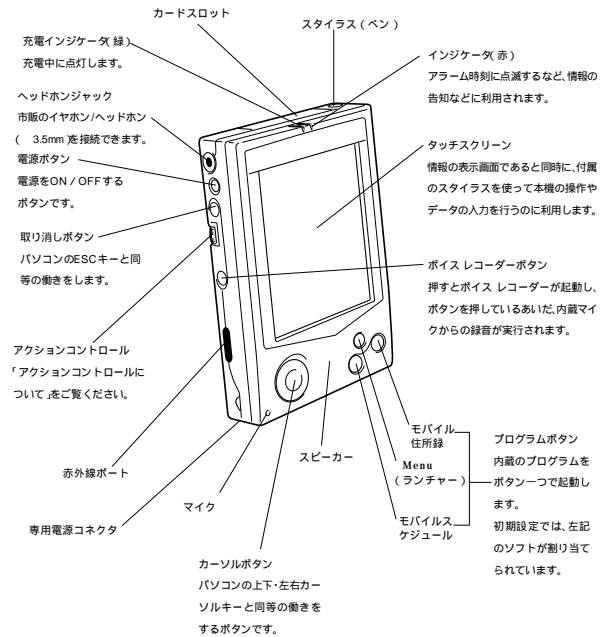
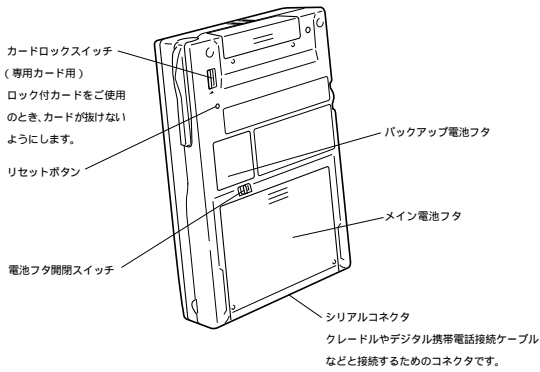
本機の内蔵ソフトを使うには
本機には、Microsoft社製のパームサイズPC標準ソフトをはじめ、弊社独自のソフトが多数内蔵されています。

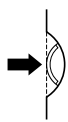
Microsoft社製ソフト	予定表、連絡先、仕事、受信トレイ、手書きメモなどのソフトの使いかたについては、「パームサイズPCユーザーズガイド」を参照してください。
カシオ製およびその他のソフト	「CASSIOPEIAアプリケーションガイド」で各ソフトの概要を説明しています。くわしくは、CASSIOPEIA Applications CD-ROM（以下CASSIOPEIA CD-ROM）の中に含まれている説明書（PreInstフォルダ内に入っています）を参照してください。

パソコンを接続して使いたいときは？
接続のしかたや、接続できるパソコンについては、この説明書の18ページを参照してください。パソコンと本機との間でデータのやりとりをする方法については、「パームサイズPCユーザーズガイド」を参照してください。

付属のCASSIOPEIA CD-ROMのソフトを本機にインストールして使いたいときは？
CD-ROM内に含まれるドキュメントを参照してください（CD-ROMドライブを備えたWindowsパソコンが必要です）。

■ 操作について

各部の名称と機能

アクションコントロールについて

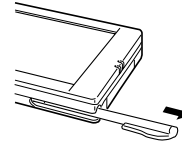
アクションコントロールでは、次の操作が可能です。

「押す」操作

おもに、パソコンのENTERキーと同様の働きをします。例えばメニューの中の選択項目を確定する場合などには「押す」操作を行います。

「上下に倒す」操作

おもに、パソコンの上下カーソルキーと同等の働きをします。例えば画面を下にスクロールさせる場合などには「下に倒す」操作を行います。

スタイラス(ペン)について

本機へのデータの入力など、ほとんどの操作は、スタイラスを使って行います。スタイラスは、本体右上のスタイラスホルダーに収納されています。

スタイラスを使うには、スタイラスホルダーから引き出して、普通のペンや鉛筆などと同じ要領で手に握ってください。スタイラスを使って、本機のタッチスクリーン上で以下の操作を行うことができます。

タップ	タッチスクリーンを軽く1回つつく操作です。
ダブルタップ	タッチスクリーンを、2回続けて軽くつつく操作です。マウスのダブルクリックの操作に相当します。
ドラッグ	タッチスクリーン上にスタイラスの先を押しつけたまま「引きずる」操作です。紙の上に鉛筆で線を描くときと同じ要領です。

注意⚠

- スタイラスをなくさないようご注意ください。スタイラスを使わないときは、必ずスタイラスホルダーに収納するようにしてください。
- スタイラスの先を破損しないようにご注意ください。
- 本機のタッチスクリーン上の操作には、付属のスタイラス(または同等品)をご利用ください。ペンや鉛筆などの筆記具は使わないでください。

タッチスクリーンの再補正について

タッチスクリーンの反応が悪かったり、タッチスクリーン上でタッチした位置と、動作との間にずれがある場合は、以下のいずれかの方法でタッチスクリーンの再補正をしてください。

- 電源ボタンを押しながらアクションコントロールを押してください。
- 画面上の[スタート]ボタンをタップし、表示されるメニューから[設定]→[スタイラス]の順にタップします。

再補正の操作は、画面の指示に従ってください。

コントラストの調節

画面の色が薄すぎたり濃すぎたりして見にくい場合は、以下のいずれかの方法で、コントラスト(画面の色の濃さ)を調節してください。

- 画面上の[スタート]ボタンをタップし、表示されるメニューから、[プログラム]→[ユーティリティ]→[コントラスト＆明るさ]→[コントラスト]タブの順にタップします。あとは、表示される画面の指示に従ってコントラスト調節を行ってください。
- 取り消しボタンを押しながらカーソルボタンを上に押すとコントラストが濃くなり、下に押すとコントラストが淡くなります。

画面の明るさの調節

暗いところで本機を操作する場合、画面を見やすくするために、画面の明るさを調節することができます。

以下のいずれかの方法で画面の明るさを調節してください。

- 画面上の[スタート]ボタンをタップし、表示されるメニューから、[プログラム]→[ユーティリティ]→[コントラスト＆明るさ]→[明るさ]タブの順にタップします。あとは、表示される画面の指示に従って明るさ調節を行ってください。
- 取り消しボタンを押しながらカーソルボタンを右に押すと画面の明るさが明るくなり、左に押すと画面の明るさが暗くなります。

画面の明るさの自動減光について

バッテリを長持ちさせるために、本機の操作を行わないで一定時間が経過すると画面の明るさを自動的に減光することができます。

以下の方法で設定してください。

- 画面上の[スタート]ボタンをタップし、表示されるメニューから、[プログラム]→[ユーティリティ]→[コントラスト＆明るさ]→[減光]タブの順にタップします。あとは、表示される画面の指示に従って減光設定を行ってください。
- チェックボックスをチェックすれば、バッテリ使用時と外部電源(ACアダプタ)使用時を別々に、自動的に減光する時間の設定ができます。

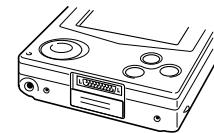
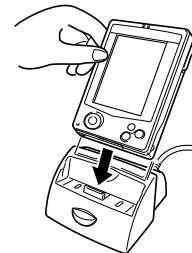
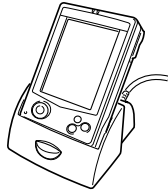
クレードルについて(パソコンとの接続について)

クレードルは、本機とパソコンとの間でデータをやりとりするためのコネクタの役割をします。またクレードルの使用中は、本機の電源コネクタの代わりに、クレードルの電源コネクタにACアダプタを接続することができ、このとき本体の充電池パックの充電も行われます。充電については34ページを参照してください。

注意⚠

本機をクレードルに取り付けるとき／取り外すときは、必ず本機の電源をOFFにしてください。

本機をクレードルに取り付けるには、以下の手順に従ってください。

1. クレードルを、机の上など水平で安定した場所に置きます。
2. 本機の電源をOFFにします。
3. 本機のシリアルコネクタのフタをスライドして開けます。

4. 本機をクレードルに対して以下の図のような向きに合わせます。

5. 本機の底面のシリアルコネクタ部がクレードルのコネクタ部に合うように気を付けながら、下図のように本機をクレードルに差し込みます。

注意⚠
コネクタが確実に入るように、最後まで押し込んでください。

取り外すときは

1.イジェクトボタンを押します。
2.本機をまっすぐ引き抜いて取り外します。

クレードルとパソコンを接続するには

クレードルには、パソコンと接続するためのシリアルケーブルが直づけされています。シリアルケーブルを、パソコンのシリアルポートに、下図のように接続してください。

注意⚠
- 接続することができるパソコンの動作環境条件については、「接続可能なパソコンについて」(21ページ)を参照してください。
- 接続する際は、パソコンの電源を切った状態で行ってください。

- 上図は一例です。シリアルポートの位置や配置はパソコンの機種によって異なりますので、お持ちのパソコンに付属の説明書をご参照の上、正しく接続してください。
- 直接接続できるのは、9ピンタイプのシリアルインターフェースです。
  シリアルインターフェースが25ピンのパソコンをお使いの場合は、市販の変換コネクタ(9ピン-25ピン)を使用してください。変換コネクタをご購入の際には、結線が適合しているものをお求めください(44ページ参照)。
- 接続後に、実際にパソコンと本機との間でデータのやりとりを行うためには、パソコン側にWindows CEサービスをインストールする必要があります。Windows CEサービスのインストール方法、および使いかたについては、「パームサイズPCユーザーズガイド」を参照してください。

接続可能なパソコンについて

本機と接続して、本機との間でデータのやりとりを行うために利用するパソコンは、少なくとも以下の条件を満たしている必要があります(同梱のMicrosoft社のCD-ROMに含まれているインストーラや、Windows CE サービスを利用するために必要な動作環境条件です)。

PCに必要なシステム

- 日本語バージョンのMicrosoft Windows NT Workstation 4.0またはWindows 95/98
- Windows NT対応のPentiumプロセッサ搭載のPC
- Windows 95/98対応の486/66 DXまたはそれ以上のプロセッサ搭載のPC（Pentium P90以上が推奨されています）
- 16MB以上のメモリが Windows NT Workstation 4.0またはWindows 95/98に必要（Windows NT Workstation 4.0は32 MB以上を推奨。メモリが大きいほど、パフォーマンスが向上します）
- 10から50MB の空き容量のあるハードディスクドライブ(実際に必要な空き容量は選択された機能とユーザーのシステム構成によって異なります)
- 9または25ピンのシリアル通信ポート(25 ピン通信ポートには市販の変換アダプタが必要です)変換アダプタをご購入の際は、結線が適合しているものをお求めください(44ページ参照)
- CD-ROM ドライブ
- VGAまたはそれと同等以上の解像度のグラフィックスカード（SVGA 256色が推奨されています）
- キーボード
- マイクロソフトマウス、または互換性のあるマウス

Windows NT Workstation4.0またはWindows 95/98のオプション:

- サウンド用のオーディオ カード/スピーカー
- Microsoft Office 97または Microsoft Office 95
- 同期のためのシリアル、または組み込みの赤外線アダプタ(Windows 95/98のみ)
- リモート同期のためのモデム
- リモート同期のためのイーサネットLAN 接続

モバイル チャンネル サポートに必要なシステム

- Microsoft Internet Explorer 4.0（CD に含まれています)。このブラウザーは40 MB から70MBのハード ディスク空き容量と最低 486/66のプロセッサを必要とします。Windows NTシステムでは、サービス パック3またはそれより新しいバージョンのサービスパックが必要です(CD に含まれています)。

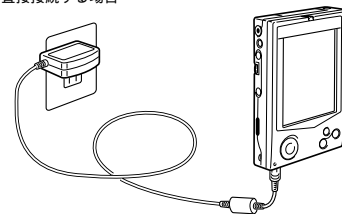
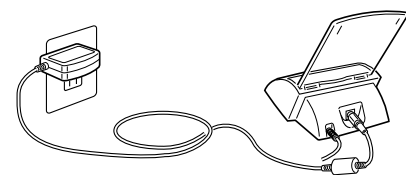
NOTE

- CASSIOPEIA CD-ROMに含まれるソフトの利用条件は、上記の環境とは異なる場合があります。詳しくは、同CD-ROM内に含まれるドキュメント(ReadMe.txtなど)を参照してください。
- 本機をご使用になるときは、Internet Explorer 4.0をご使用ください。

注意⚠
赤外線ポートやモデムの付いたノートパソコンなどでは、COMポートが通常のシリアルインターフェースとして使えるようになっていないものがあります。通常のシリアルインターフェースとして使用できるようにCOMポートの設定を変更してください。またデスクトップパソコンでも使用可能なCOMポートの番号を確認してから、Windows CEサービスのインストールを始めてください。
くわしくはお使いのパソコンの取扱説明書をご参照ください。

ACアダプタを使うには

本機のメイン電源として、ACアダプタを利用することができます。
ACアダプタは、本体に直接接続するか、クレードル経由で接続することができます。
ACアダプタを接続すると充電も行われます。
充電については34ページを参照してください。

本機に直接接続する場合

クレードル経由で接続する場合

警告⚠
ACアダプタは必ず専用品をご使用ください。指定以外のACアダプタの使用は絶対におやめください。本体の故障、電池の破裂などのおそれがあり危険です。

注意⚠
- ACアダプタを接続しても、メイン電池を装着していないと、本機を動作させることができません。
- ACアダプタを長時間ご使用になると、アダプタ本体が若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- 本機を長時間ご使用にならないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
- ACアダプタは屋内でのみご使用ください。
- 本機をクレードルにセットしたときは、電池の消耗を防ぐためACアダプタをクレードルに差してご使用ください。

赤外線通信について

本機は赤外線ポートを備えているため、本機どうしや、他の赤外線通信が可能な機器との間で、赤外線通信によるデータの転送を行うことが可能です。
通信を行うときは、本機の赤外線ポートと、通信相手の機器の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにしてください。また、赤外線ポート間の距離は、30cm以内にしてください。
赤外線通信については、「パームサイズPCユーザーズガイド」を参照してください。
本機と他の機器との間で赤外線通信を行う場合、相手側の機器がIrDA1.0の通信規格に適合しており、かつ本機との通信をサポートしている必要があります。本機と赤外線通信が可能かどうかについては、相手側の機器のメーカー等にお問い合わせください。
赤外線通信(IrCOMM)については、現在確認されているデバイスはありません。将来の拡張用として搭載されています。

注意⚠
- 通信中は本機および相手側の機器を動かさないでください。
- 太陽光など強い光やインバータータイプの蛍光灯の下ではご使用になれません。
- 通信する距離、送信／受信の角度、外光の影響、電池の消耗状況などにより、通信できないことがあります。
- 赤外線ポートにホコリやゴミが付くと、通信エラー等の原因となります。赤外線ポートが汚れている場合は、乾燥した柔らかい布でふき取ってください。
- AC アダプタの影響を受け赤外線通信がうまくいかない場合があります。そのときは AC アダプタを抜いてご使用ください。

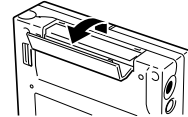
コンパクトフラッシュカードを使うには

本機はコンパクトフラッシュType IカードおよびType IIカード(3.3V仕様)に対応しています。
コンパクトフラッシュカードの装着(交換)は、次の手順で行ってください。

注意⚠
- カードフタはモデムカードなどの使用のときのため、取り外せるようになっています。

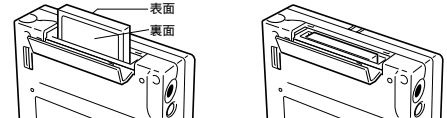
- ご使用のカードによって、カードフタは閉まりません。カードフタを外してご利用ください。このとき、カードフタは適切な場所に保管し、なくさないようにご注意ください。
- コンパクトフラッシュカードを奥まで差し込めないときは、無理に押し込まないでください。破損する場合があります。奥まで差し込めないときは、一度引き抜いてカードの向きを確かめ、再度挿入してください。
- 本体上で入力中／編集中でまだ保存していないデータがある場合は、以下の作業を行う前に、本体のRAMに保存しておくことをお勧めします。
- コンパクトフラッシュカードを正しく認識できない場合があります(通常の操作でソフトが起動できなくなります)。このような場合は、コンパクトフラッシュカードを再度挿入し、リセットボタンを押してください。
- 使用できるコンパクトフラッシュカードは、3.3V仕様です。5.0Vのみのものは使用できません。
- 電池が消耗した状態で、動作電流の大きなI/Oカードを使用したとき、いったんOFFし、その後すぐに再起動する場合があります。

1. 電源がOFFになっているのを確認します。
   電源が入っていたら、電源ボタンを押して、必ずOFFにしてください。

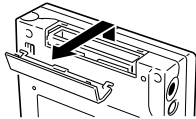
2. カードフタの凸部に指をかけ、カードフタを上方にスライドさせ、後ろへ回して開けます。

⚠ まっすぐ最後まで引き出してから回してください。

カードロックスイッチを「FREE」の位置へスライドさせます。

3. すでにカードが挿入されている場合は、カードを引き抜きます。

4. 使用したいカードをスロットに差し込みます。
   - カードの表側が本機の表側に向くように差し込んでください。向きを間違うと、スロットに奥まで差し込むことはできません。

カードは完全にスロットに入るまで差し込んでください。

5. カードフタを元に戻して閉めます。
   デジタルカメラカードなど、カードのはずれ防止のロック付カードをご使用のときは、カードロックスイッチを「FREE」の逆方向へスライドし、カードをロックします。

カードフタを取り外すときは
カードフタを途中まで引き上げ、カードフタのフックをケースの切り欠きに合わせてまっすぐ後ろに引き抜きます。

⚠ 無理な力を加えるとフタのフックが折れる事がありますので、十分注意してください。

カードフタを取り付けるときは
取り外すときの逆の手順で取り付けます。

デジタル携帯電話接続用ケーブル, PHS接続用ケーブルについて

デジタル携帯電話接続用ケーブルや, PHS接続用ケーブルを使って、本機底面のシリアルコネクタとデジタル携帯電話, PHSを接続することにより、本機をインターネットサービスプロバイダや会社のサーバーにダイヤルアップ接続することができます。

デジタル携帯電話接続用ケーブル ： JK-510CA
　cdmaOneには対応しておりません
PHS接続用ケーブル＊ ： JK-520CA (NTT DoCoMo PHS、アステル対応)
PHS接続用ケーブル＊ ： JK-521CA (DDIポケット対応)
　＊PIAFS(32Kbps)のみ対応しております。PIAFSに対応したPHSでご利用ください。

接続は以下のように行います。

取り外すときは、解除レバーを押し真っすぐに抜いてください。

注意⚠
- ケーブルの接続を行う際は、必ずCASSIOPEIAの電源を切っておいてください。
- 会社などのホストコンピュータやインターネットへの接続を行うための要件、本機上での各種設定操作などについては、「パームサイズPCユーザーズガイド」を参照してください。
- 電波の状態の良好な場所でご使用ください。
  サービスエリア内でも電波の状態が悪いと、正しく通信できないことがあります。また、電波の状態が良好でも、ノイズなどの影響で通信できないことやエラーになることがあります。そのときはもう一度やり直してください。
- 通信中にケーブルを抜いたり、デジタル携帯電話, PHSの電源を切らないでください。
- デジタル携帯電話どうしのパソコン通信の場合、接続できないことがあります。
- 接続ケーブルの素早い抜き差しはしないでください。素早い抜き差し(約1秒以内)を行うと通信できなくなることがあります。接続ケーブルを再度接続するときは、3秒以上間をあけてください。
- 接続ケーブルは、通信が終了したら必ず抜いてください。
- デジタル携帯電話,PHSは必ず各社の認定品をご使用ください。
- お使いのデジタル携帯電話，PHSの取扱説明書もご参照ください。

モデムカードについて

コンパクトフラッシュタイプのモデムカード(JK-710MC56)を使用すると、本機をアナログ電話回線経由で会社のコンピュータにダイヤルアップ接続したり、インターネットに接続することができます。
モデムカードの使いかたについてくわしくは、モデムカードに付属のマニュアルを参照してください。

注意⚠
モデムカードをご利用になる際は、メイン電池の残り容量が十分ある状態でCASSIOPEIAをご使用ください。通信中に電池がなくなると通信が不安定になったり、使用中のデータが消えたり、電源が切れることがあります。

デジタルカメラカードについて

コンパクトフラッシュタイプのデジタルカメラカード(JK-710DC)を使用すると、本機をデジタルカメラとして使用することができ、動画、静止画の録画/再生ができます。
デジタルカメラカードの使いかたについてくわしくは、デジタルカメラカードに付属のマニュアルを参照してください。

タッチスクリーン保護シートについて（別売）

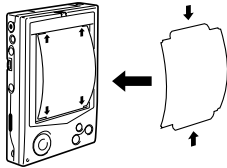
タッチスクリーン保護シートは、以下の手順でセットしてください。

注意⚠
タッチスクリーン保護シートをセットするときは、タッチスクリーンを強く押さないでください。タッチスクリーンが破損するおそれがあります。

1. 本機のタッチスクリーン上のほこりなどを取り除いておきます。

2. 保護シートの裏側に貼ってあるフィルム（緑色）をはがします。

- はがしにくい場合はセロハンテープなどをお使いください（適当な長さに切ったセロハンテープの片方の端を持ち、もう片方の端の粘着面を緑色のフィルムに押しつけてくっつけた上で引っ張ると、簡単にフィルムをはがすことができます）。
- フィルムをはがした面をさわらないようにご注意ください。
- フィルムの貼ってあった面が、タッチスクリーンに貼り付ける面になります。

3. 保護シートの上下の両端を、タッチスクリーンと本体のすきまに差し込みます。

- タッチスクリーンと保護シートの間にゴミ、ほこりなどが入らないようにご注意ください。ゴミやほこりなどが入った状態で本機をご使用になると、タッチスクリーンを傷つけることがあります。

付属ボーナスソフトの利用／市販ソフトの利用などについて

- 本機に付属のCASSIOPEIA CD-ROMには、必要に応じて本機に後からインストールして利用することができるソフトウェアが含まれています。CD-ROM内に含まれている各ソフトウェアについてくわしくは、CD-ROM内に含まれるドキュメント（ReadMe.txtなど）を参照してください。

- 本機に対応した各種アプリケーションソフトが、Microsoft社やWindows CEをサポートするサードパーティ各社から発売される予定です。市販ソフトに関する情報は、本機をお求めになった販売店や、Microsoft社のホームページ（http://www.microsoft.com）などで入手することができます。

注意⚠
市販ソフトをお求めになる際は、本機に対応しているかどうかをよくご確認ください。

■ メンテナンスについて

電源について

本機は動作用のメイン電池と、メモリ保護用のバックアップ電池の2種類の電池を使用しています。

- それぞれの電池の消耗状態は、「パワーマネジメントのプロパティ」（くわしくは「パームサイズPCユーザーズガイド」を参照）で確認できます。ときどき電池の状態を確認することをお勧めします。
- 電池が一定以上消耗すると、画面一番下のタスクバーの電池のアイコンでも確認できます。

注意⚠
電池が一定以上消耗すると、以下のメッセージが画面に表示されます。

メイン電池の消耗時：
次のメッセージが表示された場合、すみやかに充電池パックを充電してください。

> メインバッテリ残量警告
> データの損失を防ぐために、製造元のマニュアルを参照して、速やかにメインバッテリを交換または充電してください。

バックアップ電池の消耗時：
次のメッセージが表示された場合、すみやかにバックアップ電池を新品と交換してください。

> バックアップバッテリ残量警告
> データの損失を防ぐために、製造元のマニュアルを参照して、速やかにバックアップバッテリを交換または充電してください。

- 電池が消耗したまま本機を放置したり、電池交換時の扱いを誤ったりすると、メモリ内のデータが消去されてしまうことがあります。メモリ内のデータは、パソコンのハードディスクやコンパクトフラッシュカードなど、他の記憶装置にバックアップしておくことをお勧めします。バックアップの方法については、「パームサイズPCユーザーズガイド」を参照してください。コンパクトフラッシュカードへのバックアップの方法についてはCD-ROMの中に含まれているカードバックアップツールの説明書を参照してください。
- メイン電池とバックアップ電池を同時に取り外さないでください。同時に取り外すと、メモリ内のデータが消えてしまいます。
- メイン電池の残り容量が無い状態でバックアップ電池を交換しないでください。
- メイン電池とバックアップ電池の両方を交換する際は、必ずメイン電池を先に交換してください。
- メイン電池には指定の充電池パック、バックアップ電池にはリチウム電池CR2032をお使いください。指定以外の電池は使わないでください。

なお、過電流により電源がOFFした場合は、再度電源をONにしたときに次のメッセージが表示されます。

警告⚠

システムはメモリ保護のため警告なしに緊急オフしました。
これは、ハードウェアが大きな電流を必要としたためです。

引き続きご使用になる場合は、画面の明るさを暗くするか、サウンド再生やカードなどの使用をやめて大きな電流を消費する要因を取り除くか、ACアダプタの使用もしくはバッテリの充電を行うことをお勧めします。

コンパクトフラッシュカードの過電流により電源がOFFした場合は、再度電源をONにしたときに次のメッセージが表示されます。

警告⚠

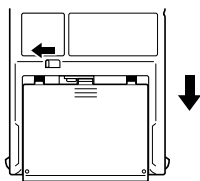
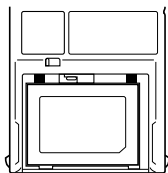
システムはメモリ保護のため警告なしに緊急オフしました。
これは、ご使用のカードが大きな電流を必要としたためです。

引き続きご使用になる場合は、カードの使用をやめて大きな電流を消費する要因を取り除くか、バッテリの充分な充電を行ってからのご使用をお勧めします。

注意⚠　電池の取り扱いについて
電池は使いかたを誤ると、液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災、けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
- 極性（＋／－の向き）に注意して正しく入れてください。
- 本機で指定されている電池以外は絶対に使用しないでください。

- 充電時の最適周囲温度は、＋10℃～35℃です。低温下や直射日光下では、充電池パックの劣化や漏液の原因となります。
- 充電池パックの劣化や漏液を防止するため、充電時期にならない場合、また、本機を使わない場合でも、3ヶ月に1度は充電をしてください。
- 正しく充電しても、使用時間が著しく短い場合は、充電池パックの寿命が考えられます。このときは新しく充電池パックをお買い求めください。

メイン電池の交換

1. 電源がOFFになっているのを確認します。
   電源が入っていたら、電源ボタンを押して、必ずOFFにしてください。
2. 本機を裏返します。
3. 電池フタ開閉スイッチを「MAIN」の位置にスライドさせ、メイン電池フタを取り外します。

4. メイン電池を取り出し、新しい充電池パックを取り付けます。
   向きを間違えないように注意してください。

5. メイン電池フタを元に戻し、電池フタ開閉スイッチを「LOCK」の位置に戻してください。

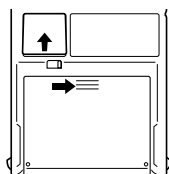
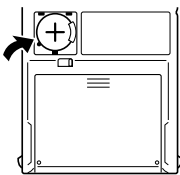
本機の充電池は、コバルト、銅などの埋蔵量の少ない高価な稀少資源を使用していますが、この貴重な金属はリサイクルして再利用できます。またリサイクルすることは、ゴミを減らし、環境を守ることができます。ご使用済みの節は捨てないで、充電式電池リサイクル店にお返し下さい。

使用済みの電池の届け先　「最寄りのリサイクル協力店」へお届け下さい。
　問い合わせ先　　社団法人　電池工業会
　　TEL 03-3434-0261
　　ホームページ　http://www.baj.or.jp

使用済み充電式電池の取り扱い注意事項
• ＋端子、－端子をテープで絶縁してリサイクル箱へお入れ下さい。
• 被覆は剥がさないでリサイクル箱へお入れ下さい。
• 分解しないでリサイクル箱へお入れ下さい。

バックアップ電池の交換

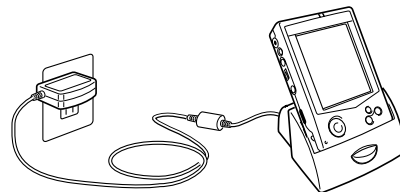
注意⚠
• メイン電池とバックアップ電池を同時に取り外さないでください。同時に取り外すと、メモリ内のデータが消えてしまいます。
• メイン電池とバックアップ電池の両方を交換する際は、必ずメイン電池を先に交換してください。
•「バックアップバッテリ残量警告」というメッセージが画面に表示された場合は、すみやかにバックアップ電池を新品と交換してください。

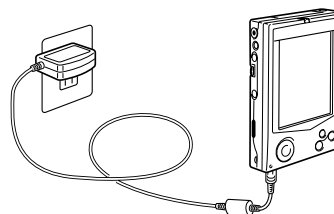
1. 電源がOFFになっているのを確認します。
   電源が入っていたら、電源ボタンを押して、必ずOFFにしてください。
2. 本機を裏返します。
3. 電池フタ開閉スイッチを「BACK UP」の位置にスライドさせ、バックアップ電池フタを取り外します。

4. 古い電池を取り外します。
5. 新品のリチウム電池（CR2032）の表面を乾いた布でよく拭いてから、元の位置に装着します。

装着する向きに気を付けてください。

6. バックアップ電池フタを元に戻し、電池フタ開閉スイッチを「LOCK」の位置に戻してください。

充電するには

1. 充電池パックを本体に取り付けます。

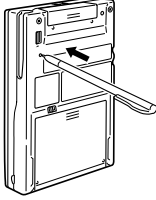
2. ACアダプタとクレードルを以下のように接続し、本体を差し込みます。

• 本体をクレードルに差し込むと自動的に充電が始まります。
• 充電中は本体の緑のインジケータが点灯し、充電が完了すると消えます。
• 充電にはおよそ5～6時間かかります（本体の電源がOFFの場合）。
• 充電時間は温度や本体の動作内容により大きく変わることがあります。
• 充電中でも本体を使用できます。
• 本機をご購入直後のセットアップのときや、新しくご購入された充電池パックをはじめて充電する場合は、充電中に本体をご使用できません。

充電が完了したら本体をクレードルから抜きます。
本体にACアダプタを以下のように接続しても充電できます。

• ACアダプタを接続すると自動的に充電が始まります。
• 充電の条件はクレードルを使用した場合と同じです。

リセットについて

「リセット」は、パソコンでの「再起動」等に相当します。リセットを実行すると、入力中や編集中などで、まだ保存していなかったデータは消去されますが、メモリ上にすでに保存されているデータや、各種設定などは基本的にそのまま残ります。
誤操作や何らかの異常により、本機が正常に動作しなくなった場合は、リセット操作を行う必要があります。リセットの操作は、例えば次のような現象が起きた場合に必要です。
- 画面をタップしたり、ボタンを押してもまったく反応しない
- 砂時計のアイコンが回転したまま、いつまでたっても消えない

リセットを実行するには

1. 本機背面のリセットボタンをスタイラスで押します。

- 押すと同時にリセット処理が開始され、メモリに異常がない場合は、画面は以下のように推移します。
  (1) 起動画面
  (2) デスクトップ画面

2. デスクトップ画面が表示された場合は、通常の状態に戻っています。メモリ上にすでに保存されているデータや、各種設定などに変化はありませんので、そのまま使い続けて構いません。

注意⚠
もし上記の操作で本機が正常な状態に戻らない場合は、フルリセット（メモリの初期化）を行ってください（37ページ参照）。

メモリに異常がある場合について

リセットボタンをスタイラスで押したときに、起動画面表示に移行せず、以下のメッセージが表示される場合があります。

> メモリ内容の一部に不正な状態を検出しました…
> ・・・・・

この画面が表示された場合は、メモリの修復はできません。アクションコントロールを押してください。フルリセット（メモリの初期化）が実行され、メモリに記憶されているすべてのデータが完全に消去されます。
- アクションコントロールを押すと、起動画面が表示されます。
  ※もしアクションコントロールを押しても起動画面にならずに通常の画面に戻ってしまった場合は、次の「メモリ異常のメッセージが出たが通常の表示に戻った場合」を参照してください。
- この後の画面の推移は、「本機のセットアップ」（12ページ）の手順5と同様です。「本機のセットアップ」の手順5〜手順6を実行してください。

メモリ異常のメッセージが出たが通常の表示に戻った場合

「メモリ内容の一部に不正な状態を検出しました…」というメッセージが表示されてアクションコントロールを押したときに、フルリセットが行われずに通常の状態に戻ることがあります。この場合でも、メモリは不安定な状態にあるため、必ずフルリセットの操作を実行する必要があります。
ただしこの場合は、メモリ上にすでに保存されていたデータが残っており、パソコンにデータを転送することが可能な場合があります。データが残っているかどうかを確認し、もし残っている場合は、必要なデータをパソコンなどに転送した上で、フルリセットの操作を実行してください。

注意⚠
システムに不安定な状態が再現することを防ぐため、転送にはWindows CEサービスのバックアップ機能は使わないでください。

フルリセット（メモリの初期化）について

フルリセット（メモリの初期化）を実行すると、メモリ上に保存されていたすべてのデータが消去され、各種の設定はすべて初期状態に戻ります。
フルリセットは、次のような場合に実行します。
- メモリの内容を完全に消去して、本機を初期状態に戻したい場合
- パスワードを忘れてしまい、本機を使うことができなくなった場合
- メモリ異常のため、本機が正常に動作しなくなった場合
- 「メモリ内容の一部に不正な状態を検出しました…」というメッセージが表示された場合

フルリセットを実行するには

注意⚠
- フルリセットを行う場合は、コンパクトフラッシュカードを抜いてから行ってください。
- 以下の操作を行うと、メモリに記憶されているすべてのデータが完全に消去されます。可能な場合は、本機のデータをパソコンもしくはコンパクトフラッシュカードへバックアップを行っておいてください。

1. 本機の電源が入った状態で、電源ボタンを押しながら本機背面のリセットボタンをスタイラスで約2秒間押すと、以下のメッセージが表示されます。

> メモリの初期化を行います。
> [アクション]を押すと実行します。
> (解除する場合は、[取り消し]
> を押してください。)

2. アクションコントロールを押すと、以下のメッセージが表示されます。

> メモリに保存されているすべて
> のデータは消去されます。
> [アクション]を押すと実行します。
> (解除する場合は[取り消し]
> を押してください。)

3. 再度アクションコントロールを押します。
   - フルリセットが実行され、すべてのメモリ上のデータが消去されます。
   - アクションコントロールを押すと、起動画面が表示されます。この後の画面の推移は、「本機のセットアップ」（12ページ）の手順5と同様です。「本機のセットアップ」の手順5〜手順6を実行してください。

手順1、2でメッセージが表示されているときに取り消しボタンを押すと、フルリセットの処理を中断します。

フルリセットを行ってもエラーが再発する場合は、次の事柄が考えられます。

(1) 本機の不具合
(2) お買上げ直後のリセットが正しく行われなかったため、システムが不安定になっている

これらのうち、リセットが正しく行われなかったことが要因でエラーが発生しているときには、41ページの操作を行ってください。正常な状態に復帰できます。

故障かな？と思ったら

故障と思われるような現象が起きた場合は、弊社サービスステーションなどにお問い合わせになる前に、まず下記を参考にして対処してみてください。また、下記の内容とあわせて、「パームサイズ PC ユーザーズガイド」もご参照ください。

電源ボタンを押しても何も動かない

考えられる原因	対処	参照ページ
メイン電池が消耗している	充電池パックを充電する	34ページ
電池フタ開閉スイッチが「LOCK」になっていない	「LOCK」の位置にする	31ページ
何らかの異常が発生した	リセットを行う リセットしても状態が変化しないときにフルリセットを行ってください（ただしデータは消去されます）	35ページ 37ページ

ACアダプタで動作させることができない

考えられる原因	対処	参照ページ
メイン電池が消耗している	充電池パックを充電する	34ページ
クレードル経由でＡＣアダプタを接続している場合で、本機がクレードルに正しく取り付けられていない	本機をクレードルに正しく取り付ける	18ページ

メイン電池の交換後、動作しない、または異常に動作するようになった

考えられる原因	対処	参照ページ
電池が正しく取り付けられていない	充電池パックを一度取り外し、再度取り付け直す ＋／－の向きに注意して正しく入れてください	31ページ
電池の取り付けが正しい手順で行われなかった	フルリセットを行う（ただしデータは消去されます） フルリセットを行っても正常にならない場合は、メイン電池を取り外し、お買上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください	37ページ

充電池パックを正しく充電しても使用時間が著しく短い

考えられる原因	対処	参照ページ
充電池パックの寿命、破壊	新しい充電池パックをお買い求めください	ー

バックアップ電池を交換したのに「バックアップバッテリが残りわずかです...」というメッセージが表示された

考えられる原因	対処	参照ページ
バックアップ電池の極性（＋とーの向き）が正しく取り付けられていない	バックアップ電池を取り外した後、再度正しく取り付ける	33ページ
バックアップ電池をメイン電池よりも先に入れて放置した	メイン電池が正しく取り付けられていることを確認した後、新しいバックアップ電池に交換する	33ページ
電源がONのままバックアップ電池を交換し、そのまま使い続けた	一度電源をOFFにし、再度ONにする	ー

タッチスクリーンにタッチしても何も反応しない

考えられる原因	対処	参照ページ
タッチスクリーンの設定がずれている	電源ボタンを押しながらアクションコントロールを押し、タッチスクリーンの補正を行う	16ページ
静電気の影響などでタッチスクリーンの誤動作が起きている	リセットを行う	35ページ
タッチスクリーンが損傷している	お買上げの販売店にお持ち込みいただくか、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに修理依頼してください	ー

画面がロックして動かない

考えられる原因	対処	参照ページ
何らかの異常が発生した	リセットを行う リセットしても状態が変化しないときにフルリセットを行ってください（ただしデータは消去されます）	35ページ 37ページ

「メモリ内容の一部に不正な状態を検出しました…」というメッセージが画面に現れた

考えられる原因	対処	参照ページ
何らかの異常が発生した	画面の指示に従って操作してください	36ページ

※ フルリセットを行っても、まだ画面がロックして動かないときは、次の操作を行ってください。

注意⚠
- 次の操作を行うと、メモリに記憶されているすべてのデータが消去されます。
- パソコンやコンパクトフラッシュカードにデータのバックアップを作成したときでも、次の操作を行った後は、そのバックアップデータを本機に戻さないようにしてください。
  本機のシステムが不安定な状態のときに作成したバックアップデータは、内部に不安定な要素を持っており、パソコンやコンパクトフラッシュカードから本機に戻すと、システムに不安定な状態が再現してしまうためです。
- システムに不安定な状態が再現することを防ぐためには、パソコンにデータのバックアップを作成するときに、以下の方法を採用してください。
  予定表や連絡先データなどは同期*により、パソコンにデータを転送してください。
  その他の各ファイルは、ひとつひとつのファイルをドラッグ＆ドロップでパソコンに転送してください。

* 同期については、「パームサイズ PC ユーザーズガイド」を参照してください。

1. メイン電池とバックアップ電池の両方を取り外します。
2. 約 5 分間、そのまま放置します。
3. メイン電池を取り付けます。
   - 必ずメイン電池のみを先に取り付けてください。バックアップ電池を先に取り付けると、本機は正常に起動しません。もし正常に起動しない場合は、手順1からやり直してください。
4. AC アダプタを接続して充電します。
5. 充電完了後、バックアップ電池を取り付けます。
6. 電池フタ開閉スイッチが、「LOCK」の位置に合っていることを確認してください。
7. 約 5 秒間待って、電源ボタンを押します。
   - 画面が以下のように推移します。
     (1) 起動画面
     (2) タッチスクリーンの補正画面
8. 画面に表示されるガイドに従って、本機の初期設定を順次行ってください。
9. 設定が完了したら、電源ボタンを押して電源を OFF にします。

- パソコンやコンパクトフラッシュカードにバックアップデータがある場合は、上記の作業の終了後に本機が正常に動作するのを確認した上で、バックアップデータを本機にリストアしてください。バックアップデータのリストアの方法については、「パームサイズPCユーザーズガイド」を参照してください。コンパクトフラッシュカードからのリストアの方法についてはCD-ROMに含まれるカードバックアップツールの説明書を参照してください。
- 以上の操作を行ったにもかかわらず正常に動作しない場合は、お買上げの販売店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーション（巻末参照）にお問い合わせください。

■ 補足

ボタン操作一覧

各キーの操作およびキーの組み合わせ操作によって実行できる機能を以下に示します。

電源OFFの状態で操作可能なキー

電源ボタン ……………… 電源をONにします。
ボイス レコーダーボタン … 電源をONにし、ボイスレコーダーが起動します。ボタンを押し続けている間、録音が実行され、ボタンを離すと録音が終了します。
モバイルスケジュールボタン・ 電源をONにし、モバイルスケジュールを表示します。
モバイル住所録ボタン …… 電源をONにし、モバイル住所録を表示します。
ランチャーボタン ………… 電源をONにし、Menu（ランチャー）を表示します。

電源ONの状態で操作可能なキー

電源ボタン ………………………………… 電源をOFFにします。
取り消しボタン＋アクションコントロールを押す … スタートメニューを表示
取り消しボタン＋カーソルボタンを上へ押す ……… コントラスト調節（濃くする）
取り消しボタン＋カーソルボタンを下へ押す ……… コントラスト調節（淡くする）
取り消しボタン＋カーソルボタンを右へ押す ……… 画面の明るさ調節（明るくする）
取り消しボタン＋カーソルボタンを左へ押す ……… 画面の明るさ調節（暗くする）
電源ボタン＋アクションコントロールを押す ……… タッチスクリーンの補正

※ スタートメニューについては、「パームサイズPCユーザーズガイド」を参照してください。

ボタン操作補足

アクションコントロールとカーソルボタンを組み合わせると以下に示すキーのはたらきをします。
アクションコントロール＋カーソルボタンの上を押す… Altキー
アクションコントロール＋カーソルボタンの下を押す… スペースキー
アクションコントロール＋カーソルボタンの右を押す… Tabキー
アクションコントロール＋カーソルボタンの左を押す… Back Tab(Shift＋Tab)キー

仕様

型　　式：E-503
表　　示：240 × 320ドット
　　　　TFTカラー液晶(65536色)
CPU　：VR4121
メモリ　：32MB(データ記憶領域： 最大16MB)
外部インターフェース ：
　　　　シリアルポート:　RS-232C、最大115.2kbps
　　　　赤外線ポート　：　IrDA Ver.1.0準拠、最大115.2kbps、通信距離30cm以下
カードスロット:
　　　　コンパクトフラッシュカード Type I／Type II(3.3V仕様)
ヘッドホンジャック :
　　　　φ3.5mm
　　　　モノラルタイプイヤホン、ステレオタイプイヤホン／ヘッドホンが使用可
電　　源：メイン電源： 充電池パック(JK-210LTリチウムイオン充電池)
　　　　　　　　　　ACアダプタ(AD-C50200)
　　バックアップ電池： CR2032リチウム電池×1
消費電力：3.6W
電池寿命：(常温)
　　メイン電池：
　　　　約6時間　　連続入力とデータ表示を1:10の割合で繰り返したときで画面の明るさを最も暗めに設定した場合。ただし、充電条件などにより短くなる場合があります。
　　　　約4時間　　別売品のデジタル携帯電話接続ケーブルを使用して、デジタル携帯電話でのデータ通信を連続して行ったとき
　　　　約4時間　　別売品のPHS接続ケーブルを使用して、PHSでのデータ通信を連続して行ったとき
　　　　※電源OFF時にもメモリ保持などのために微量の電流が必要となりメイン電池は消耗してます。
　　バックアップ電池：
　　　　約5年　　　メイン電池の充電を促す警告メッセージが表示されるたびに、すぐにメイン電池を充電した場合
　　　　約1週間　　上記警告メッセージが表示された後、そのまま放置した場合
充電時間：(常温)
　　　　約5～6時間　ただし、購入直後などの電池の状態や充電温度等によって長くなる場合があります。

使用温度：0℃～40℃(充電温度10℃～35℃)
大 き さ：幅83.6×奥行131.2×高さ20 mm
重　　さ：255 g

技術情報

本機標準のインターフェースについて

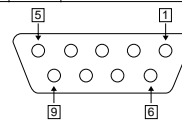
本機に標準に備え付けられているインターフェースは以下のようになっています。
これらと互換性のない機器は基本的に動作しません。*

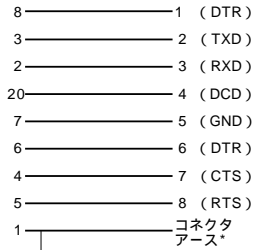
• シリアルポート：FIFO バッファを使用した16550 互換 のUARTが必要です(RS-232C、モデムなどが対象になります)。

* 動作させるには専用の開発ツールを使い、別途ドライバの開発を行う必要がある場合があります。

• 互換性のある機器でも、詳細部分で互換性を満たしていない場合があります。
• Microsoft 社のReadmeファイルもあわせてご参照ください。

9ピンシリアルインターフェース

ピン	信号名	内容
1	DTR	データ端末レディ
2	SD	送信データ
3	RD	受信データ
4	DCD	キャリア検出
5	GND	信号グランド
6	DTR	データ端末レディ
7	CTS	送信可
8	RTS	送信要求
9	NC	未使用

RS-232C**ケーブル 9ピン コネクタ**

25ピン-9ピン　コネクタ結線図

＊ 9ピンコネクタ側の9番ピンは使われていません。

本製品の譲渡に関するご注意

本製品を第三者に譲渡(売却)されるときは、1)の条件にしたがってください。
譲渡を受けられたときは、2)の手続きにしたがい、クラブカシオペアで会員登録を行ってください。

1)製品を譲渡されるお客様へ

本製品を第三者へ譲渡されるときは、製品本体とともに本製品に付属するすべてのもの(CD-ROM、取扱説明書、エンドユーザー・使用許諾契約書、バックアップ用のコピーなどを含みます)を譲渡し、ソフトウェアの複製物など一切をお手元に残さないでください。
クラブカシオペアで会員登録をされている場合は、会員登録抹消手続きを事前に行ってください。
抹消されていない場合、譲渡されたお客様の登録に、ご迷惑がかかる場合があります。

2)製品の譲渡を受けられるお客様へ

ソフトウェアに関わるエンドユーザー・使用許諾契約に同意された方のみが、本製品の譲渡を受けられます。本製品の譲渡を受けますと、この契約に同意したものとみなされますのでご注意ください。

クラブカシオペアに会員登録されたお客様より譲渡を受ける場合、登録の抹消が完了していることを確認願います。抹消が確認できない場合、クラブカシオペアからのサービスは受けられません。

MEMO

MEMO

P

CASIO

カシオ計算機株式会社
〒151-8543　東京都渋谷区本町1-6-2

再生紙を使用しています。

PN411275-001　MO0102-000006D　Printed in Japan

パームサイズPC
ユーザーズガイド

本製品は新規ご購入パームサイズPCの添付物です。

- ご使用の前に「ハードウェア取扱説明書」の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も大切に保管してください。

ご注意

目次

ようこそ

Microsoft® Windows® CEを搭載したこのパームサイズPCは、Microsoft Windowsベースのパソコンと連係して使うためのモバイルデバイス ファミリーのメンバーです。パームサイズPCに内蔵されているソフトウェアを使うことで、パソコン上で管理している商用／私用の各種スケジュール情報や住所録などをいつでもアップデートされた状態で持ち歩いたり、電子メールの送受信を行ったりすることができます。例えば次のようなケースをイメージしてください。

- 仕事の出張先で、重要な顧客との商談に関するフィードバックをもらった。社内の検討会議の召集が必要だ。パームサイズPCを取り出して、「予定表」に会議スケジュールを入力、召集メンバーを「連絡先」からピックアップして電子メールアドレスを確認、即座にメールを送る。
- 会議の場で「手書きメモ」を使って図表入りのメモを取っておいた。会議の出席者と、出席できなかった関係者には、その場で取ったメモを添付ファイルとしてメールしておく。自分用には、データをPCに転送した後で資料にまとめておこう。
- 帰宅途中の車の中で、明日の朝一番で電話しておきたい件を2、3思い出した。信号待ちの間におもむろにパームサイズPCを取り出して「ボイスレコーダー」にさっと録音しておく。
- 友人と会って、夕食の後で映画を見にいく予定。パソコンのインターネットエクスプローラで講読している映画情報のチャンネルをパームサイズPCにダウンロードしておいて、夕食の間にどの映画を見にいくか決めるとしよう。

こうしたことは、いずれもパームサイズPCが標準で内蔵しているソフトを使ってできることです。他にもさまざまな使い方・機能が用意されており、ソフトを追加すれば機能の拡張も可能です。自分のライフスタイルにあわせて、是非パームサイズPCを使いこなしてください。

このマニュアルについて

このマニュアルでは、次のことを説明します。

- パームサイズ PC の基本操作
- パームサイズPCに内蔵されているMicrosoft社の標準ソフトウェアの解説
- Windows ベースの PC とパームサイズ PC の連係（接続）の方法

CASSIOPEIAのハードウェアについての使用上の注意や各種説明（各部の名称や電池交換方法など）については、別冊の「ハードウェア取扱説明書」を参照してください。また、以下の「情報の入手先」も必要に応じて参照してください。

情報の入手先

知りたい情報	参照先
パームサイズ PC 上のプログラムの操作	• **本書** • **パームサイズ PC ヘルプ（オンラインヘルプ）** パームサイズPC上で［スタート］ボタンをタップし、［ヘルプ］をタップします。
パソコンとの間でのデータの同期やファイルの交換（出先からのPC接続の情報を含む）	• **本書** • **パームサイズ PC ヘルプ（オンラインヘルプ）** • **Windows CE サービスのヘルプ** パソコンの［モバイルデバイス］ウィンドウで、［ヘルプ］メニューの［Windows CE サービスのヘルプトピック］をクリックします。
ツールバーボタンおよびダイアログボックス上の各部について	パームサイズPCの本体画面上で、ツールバーボタンやダイアログボックス上の各部をタップし、スタイラスをそのまま画面に押しつけたままにすると、その部分の名前または短い説明が表示されます。スタイラスを画面から離す前に画面上の何もない位置にスタイラスを移動すれば、ボタン等を押さずに済みます。

知りたい情報	参照先
接続に関するトラブルシューティング情報	**Windows CE サービスのヘルプ** パソコンの［モバイルデバイス］ウィンドウで、［ヘルプ］メニューの［通信に関するトラブルシューティング］をクリックします。
パームサイズPC等、Windows CE デバイスに関する最新情報	**Windows CE のホームページ** 次のアドレスにアクセスしてください。 http://www.microsoft.com/japan/products/windowsce
Windows CE のリリース情報	**パソコン上のリリースノート** パソコン上で［スタート］をクリックし、［プログラム］－［Microsoft Windows CE サービス］－［リリースノート］の順にクリックしてください。
パームサイズ PC のハードウェアに関する情報	**ハードウェア取扱説明書**
ユーザーサポート窓口	**カシオサポートセンター** TEL.　03-5294-7122　9:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日を除く）
カシオペアに関する各種情報（ソフトウェアのアップデート、動作確認情報など）	**カシオペアのホームページ** 次のアドレスにアクセスしてください。 http://www.casio.co.jp/ppc/ **FAX 情報サービス** FAX から次の番号に電話して音声ガイダンスに従ってください。 FAX：03-5334-4630

NOTE
パソコン上でWindows CEサービスのヘルプを参照するためには、あらかじめ Windows CE サービスをインストールする必要があります。Windows CE サービスのインストールについては、別紙のクイックスタートガイドまたは本書の第 6 章をご参照ください。

第１部　パームサイズPCを使う

第１部では、パームサイズ PC の最も基本的な使い方や、あらかじめ内蔵されている各種の標準ソフト の機能、使い方などについて説明します。

第１章　「パームサイズPCの基本操作」

パームサイズPCの概要と、はじめに覚えておくことが必要な最も基本的な操作方法について説明します。また、パームサイズPCのカスタマイズ方法についてもここで説明します。

第２章　「クイックスタート」

パームサイズPCに入力することができるさまざまな種類の情報を、実際に入力してみます。パームサイズ PC ではこんなことができる、ということが、大まかに理解できるようになっています。

第３章　「ボイスレコーダーと手書きメモ」

内蔵の標準ソフトのうち、ボイスレコーダーと手書きメモについて解説します。

第４章　「ポケットアウトルック」

ポケットアウトルックは、パームサイズ PC に内蔵されている予定表、連絡先、仕事、受信トレイの４つのプログラムの総称です。パソコンのMicrosoft Outlook（またはMicrosoft Schedule+）との間で同期が可能なこれらのソフトの使い方について説明します。

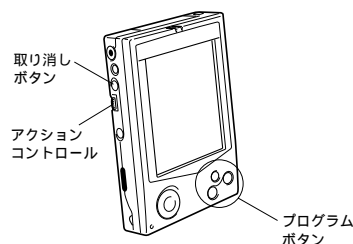
第１章　パームサイズPCの基本操作

パームサイズ PC を使えば、ちょっとしたメッセージをさっと録音したり、メモを取ったり、様々な個人情報を参照したりすることが、どこでも簡単にできます。ここで説明する操作を実際に行う前に、ハードウェア取扱説明書をお読みになり、あらかじめ以下の準備をしておくことが必要です。

- 電池を入れる
- 電源をオンにする
- 画面のコントラストを調節する
- 画面の明るさを調節する

パームサイズ PC の電源を最初にオンにした際には、セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従って最初のセットアップ作業を終えると、パームサイズ PC を使うことができるようになります。

パームサイズPC上のボタンについて

パームサイズ PC 上で各種の操作を行うためのボタンは、次のイラストのようになっています。

プログラムボタン

内蔵のプログラムをボタン一つで起動します。初期設定では、モバイルスケジュール、モバイル住所録、Menu（ランチャー）の各ソフトが割り当てられています。各ボタンへのプログラムの割り当ては、自由に変更することができます。

電源オフの状態でプログラムボタンを押すと、電源オンしてプログラムボタンに割り当てられたソフトが起動されます。

> **NOTE**
> プログラムボタンを使って電源オフの状態からソフトを起動する場合は、電源オン時にオーナー情報の表示をしないようにしてお使いください。また、プログラムボタンにはコンパクトフラッシュカード上のプログラムは割り当てないでください。

取り消しボタン　(○)

パソコンの ESC キーと同等の働きをします。操作の中止や解除、ひとつ前の画面やメニューに戻る操作などを行うのに利用します。

アクションコントロール

アクションコントロールは、ダイヤルの形をしたボタンです。押す操作と、上下に倒す操作を行うことができます。

「押す」操作 …………………… おもに、PC の ENTER キーと同様の働きをします。例えばメニューの中の選択項目を確定する場合などには「押す」操作を行います。
オンラインヘルプ上では＜●＞で表示されます。

「上下に倒す」操作 ………… おもに、PCの上下カーソルキーと同等の働きをします。例えば画面を下にスクロールさせる場合などには「下に倒す」操作を行います。
オンラインヘルプ上では＜↑／↓＞で表示されます。

カーソルボタン

パソコンの上下・左右カーソルキーと同様の働きをするボタンです。例えば手書きメモでカーソルの位置を移動する際などに使います。

> **NOTE**
> 各キーは、特定のプログラムの中で、さまざまな使い方ができる場合があります。例えば、手書きメモでは、取り消しボタンを押したままスタイラスをドラッグすることで、スペースを入力することができます。こうした各プログラムごとに固有のボタン操作については、パームサイズPCのオンラインヘルプに掲載されています。オンラインヘルプは、［スタート］ボタンをタップして［ヘルプ］をタップすることで表示させることができます。

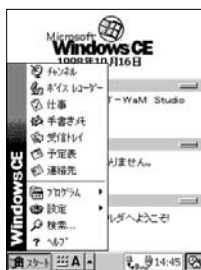
タッチスクリーンの基本操作

タッチスクリーン上では、表示されているボタンやメニューなどをスタイラスで「つつく」ことで操作します。PC上のマウス操作の「クリック」、「ダブルクリック」、「ドラッグ」に相当する操作を、パームサイズPC上ではすべてスタイラスを使って行うことができます。

操作	説明
タップ	タッチスクリーンを軽く１回つつく操作です。［スタート］ メニューなどのメニューを表示させたり、画面上のボタンを押すときには、タッチスクリーンを「タップ」します。
ダブルタップ	タッチスクリーンを、２回続けて軽くつつく操作です。マウスのダブルクリックの操作に相当します。
ドラッグ	タッチスクリーン上をスタイラスを使って「引きずる」操作です。画面上のツマミやアイコンなどを移動する際に、この操作を行います。マウスのドラッグ操作と同様です。

パームサイズPCのプログラムについて

パームサイズPCには、さまざまなプログラムがあらかじめ内蔵されています。内蔵プログラムの中には、Microsoft社の標準のもの（予定表、連絡先など）や、カシオ製のものを含む数多くのプログラムがあります。これらのプログラムを使うには、［スタート］メニューから選ぶか、プログラムボタンを押します。

パームサイズPCでは、一度起動したプログラムを終了する必要はありません。使いたいプログラムの間で切り替えるだけで良いのです。

スタートメニュー画面

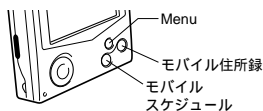
> **ご注意**
> パームサイズPCではシステム全体の操作性を確保するため、多くのプログラムの同時起動を許していません。プログラムの数や、メモリの制限によって、プログラムを自動的に終了させる場合があります。必要なデータは、常にファイルとして保存しながらお使いください。

Microsoft社標準プログラム一覧

アイコン	プログラム
	受信トレイ 電子メールの送受信を行います。
	連絡先 取引先の名刺管理、友人の住所録管理を行うことができます。電子メールのアドレスブックとしても利用できます。
	予定表 定期／不定期のさまざまなスケジュール管理を行うことができます。
	仕事 しなければならない要件に優先順位を付けて管理することができます。
	チャンネル パソコン上のInternet Explorer 4.0で講読したモバイルチャンネル・コンテンツを、パームサイズPCにダウンロードして閲覧することができます。
	手書きメモ 手書き、または画面上のキーパッドを使って、メモを入力することができます。
	Microsoft ボイスレコーダー メッセージなどの録音／再生ができます。
	電卓 四則演算、平方根、パーセント計算が可能な9桁電卓です。
	ソリティア おなじみのカードゲームです。
	ActiveSync パームサイズ PC 側からパソコンとの同期を開始します。
	PC リンク パームサイズ PC 側からパソコンとの接続を開始します。

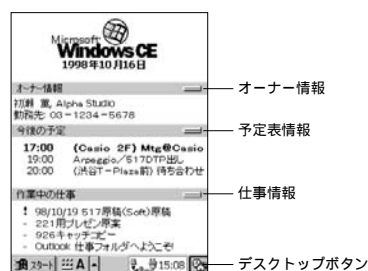
アイコン	プログラム
	リモートネットワーク ケーブル接続またはダイヤルアップ接続による、パソコンなどのコンピュータやインターネットへの接続を行います。

NOTE
カシオ製のプログラムなど、Microsoft 社標準プログラム以外のプログラムについては、別冊の「CASSIOPEIA アプリケーションガイド」を参照してください。

CASSIOPEIA本体前面には、3つのプログラムボタンが配置されています。これらは、初期設定ではそれぞれモバイルスケジュール、モバイル住所録、Menuに割り当てられています。割り当ての変更は、［スタート］－［設定］－［ボタン］の順でタップすると表示される「ボタンのプロパティ」で行います。

> **ご注意**
> プログラムボタンに割り当てるソフトは、コンパクトフラッシュカードにインストールせず、本体メモリにインストールしてお使いください。

NOTE
パームサイズ PC にあらかじめ内蔵されている各種のソフトは、ROM（Read Only Memory）に記録されており、削除することはできません。

アクティブデスクトップ

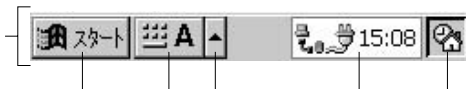
アクティブデスクトップは、パームサイズPCに現在登録されている各種の重要な情報（今日のスケジュールや、仕掛かり中の仕事など）を一覧で表示する、パームサイズ PC の表紙のような画面です。

アクティブ・デスクトップの画面

この画面は、タスクバーの右端のデスクトップボタンをタップすることで、いつでも表示することができます

アクティブデスクトップへの表示項目は、［スタート］－［設定］－［画面］の順でタップして表示される画面上で設定することができます。

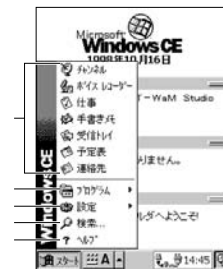
設定画面

スタートメニューとタスクバー

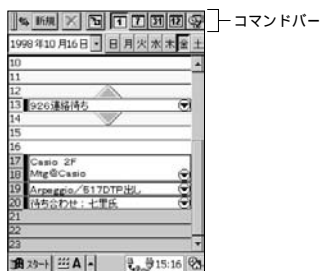
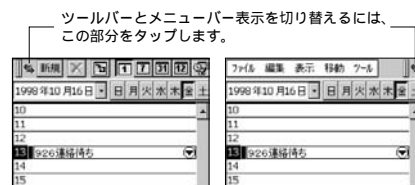
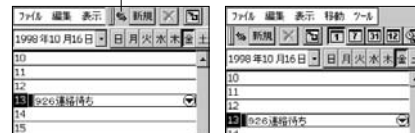
パームサイズ PC の画面の一番下には、「タスクバー」が表示されています。

①タスクバー .... 画面の一番下の部分全体を「タスクバー」と呼びます。
②［スタート］ボタン .... タップすると「スタートメニュー」が表示されます。
③入力パネル表示ボタン .... 入力パネル（詳しくは 17 ページ参照）の表示／非表示を切り替えます。
④入力パネル切り替えボタン ...... 4種類の入力パネルのどれを利用するかを選択できます（詳しくは 17 ページ参照）。
⑤タスクトレイ .... パームサイズ PC の状態情報などが表示されます。ここに表示されているアイコンをダブルタップすると、より詳しい情報が表示されます。
⑥デスクトップボタン .... 現在表示されているプログラムとアクティブデスクトップの表示を切り替えることができます。

NOTE
バッテリの残量が「残りわずか*」になると、タスクトレイの部分にバッテリアイコン（![]/![]）が表示されます。タスクトレイ上のアイコン表示については、巻末の「タスクトレイアイコン一覧」を参照してください。

***** **バッテリの残量は、パワーマネージメントのプロパティ（［スタート］－［設定］－［パワーマネージメント］で表示）上で確認できます。**

［スタート］ボタンを押して表示されるスタートメニューは、以下のような構成になっています。

①パームサイズ PC 標準ソフト ..... プログラム名をタップするだけで、そのプログラムを起動することができます。
②［プログラム］メニュー .... 通信ソフトや、カシオ製のソフトなどは、ここをタップすると表示されるサブメニューから選びます。
③［設定］メニュー .... ここをタップすると、パームサイズPCをカスタマイズするための各種設定を選択するサブメニューが表示されます（各種設定についての詳細は、23ページの「パームサイズPCのカスタマイズ」を参照してください。）
④検索 .... パームサイズPCに登録されている各種のデータの検索を行う際にタップします（詳しくは 19 ページを参照）。
⑤ヘルプ .... パームサイズPCのオンラインヘルプを表示します。

コマンドバー

コマンドバーは、パームサイズPCのプログラムを起動すると画面の一番上の部分に表示されます。ここでは例として予定表のコマンドバーで説明します。［スタート］ボタンをタップして、スタートメニューの［予定表］をタップしてください。

コマンドバーに表示される要素としては、「ツールバー」と「メニューバー」の 2 つがあります。初期状態では「ツールバー」だけが表示されていますが、表示を「メニューバー」に切り替えたり、「ツールバー」と「メニューバー」の両方を 2 行に表示することができます。

この部分をドラッグすることで、ツールバーとメニューバーの一部を表示することもできます。

ツールバーを下にドラッグすると、メニューバーとツールバーを同時に表示させることもできます。元の 1 段の表示に戻すには、ツールバーを上にドラッグしてください。

NOTE
ツールバー上の各ボタンは、いずれもメニューから実行できるコマンドのうち、比較的よく利用されるものをボタンにして配置してあるものです。プログラムごとのボタン、メニューの操作については、オンラインヘルプを参照してください。

パームサイズPCに文字を入力する

ここでは、パームサイズ PC 上で文字を入力する方法について説明します。

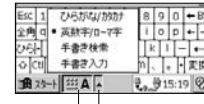
入力機能について

パームサイズ PC では、入力パネルと日本語入力システムを使って文字を入力します。入力パネルは、文字を入力するためにキーボードの代わりに使います。入力パネルから入力した文字はアプリケーションの挿入ポイントの位置に表示されます。入力パネルから入力したひらがなを漢字やカタカナに変換するには、MS-IME98 for Windows CE （以下 MS-IME98）という日本語入力システムを使います。

入力パネル

パームサイズ PC で文字を入力するには、入力パネルを使います。入力する文字や好みに応じて次の 4 種類の入力パネルを適切に使い分けてください。

入力パネルの種類	機能
ひらがな / カタカナ	ひらがなまたはカタカナを入力するためのキーが五十音順に表示されます。また、句読点、濁点、半濁点、および促音（小字キー）のためのキーがあります。
英数字 / ローマ字	全角と半角のアルファベット、数字、および記号（` - ^ @ : ; / \ [ ]など）を入力します。ローマ字変換で日本語を入力することもできます。 **ご注意**：£は全角で入力してください。
手書き検索	スタイラスを使用して文字を検索することができます。
手書き入力	スタイラスを使用して文字を手書き入力します。

入力パネルは、次の要領で切り替えることができます。

① 入力パネル表示ボタン
入力パネルの表示／非表示を切り替えます。通常は、使用中のプログラムで文字入力を行う画面を表示すると、入力パネルが自動的に表示状態になります。

② 入力パネル切り替えボタン
文字入力に利用する入力パネルを、「ひらがな／カタカナ」、「英数字／ローマ字」、「手書き検索」、「手書き入力」の 4 種類から選択できます。

ひらがな／カタカナ　**英数字／ローマ字**

手書き検索　**手書き入力**

これらの入力パネルは、文字の入力方法によって次の 2 つに分類できます。

- ソフト キーボードを使った入力
- スタイラスを使った手書き入力

> **NOTE**
> CASSIOPEIAには、上記の 4 種類のキーボード以外にも、入力するデータの種類に応じた専用キーボードが利用できる場合があります。詳しくは、別冊の「CASSIOPEIA アプリケーションガイド」の「文字入力」を参照してください。

ソフト キーボードによる入力

ソフト キーボードとは、通常のデスクトップ コンピュータのキーボードを画面上に再現したものです。キーボードのキーを指で押すのと同じように、画面上のソフト キーボードのキーをタップすることで文字を入力できます。
ソフト キーボードを使用するには、タスク バーの入力パネル切換ボタン（前ページの②参照）をタップし、［ひらがな／カタカナ］または［英数字／ローマ字］をタップします。
ひらがなを入力するように指定すると、日本語入力システムが自動的に有効になり、漢字に変換することができます。また、ソフト キーボード上でドラッグしてスペースや改行を入力するジェスチャを使用することもできます。

> **NOTE**
> 本体のボタンを使って、次の入力操作が可能です。ソフトキーボード上に表示されていないキー入力を行うことができ便利です。
>
> アクションコントロール押し＋カーソルボタン 上→［Alt］
> アクションコントロール押し＋カーソルボタン 下→［スペース］
> アクションコントロール押し＋カーソルボタン 右→［Tab］
> アクションコントロール押し＋カーソルボタン 左→［Back Tab］
> （Shift ＋ Tab）
>
> 入力パネルのオンラインヘルプに、英数字／ローマ字入力パネルで次の説明がありますが、この操作はできません。
> 「キートップを上にドラッグすると簡単に大文字のアルファベットを入力することができます。」

スタイラスを使った手書き入力

手書き入力では、入力枠にスタイラスで書き込んだ文字が自動的に認識され、適切な文字に置き換えられて挿入ポイントに入力されます。スタイラスを使った手書き入力を使用するには、タスク バーの入力パネル切換ボタン（前ページの②参照）をタップし、［手書き入力］または［手書き検索］をタップします。
［手書き入力］では、入力枠に文字を書き込んだあと、次の場合に文字が認識されます。

- ほかの枠に文字を書き込む
- 認識キーをタップする
- 認識待ち時間が経過する

認識された文字はアプリケーションの挿入ポイントの位置に表示されます。文字が間違って認識された場合は、その文字の左端をタップします。候補文字が一覧に表示され、目的の文字を選択できます。直接漢字を入力することも、漢字の読みを入力して認識させてから漢字に変換することもできます。
［手書き検索］では、左の入力枠に文字を入力すると、一致する文字が右の枠に表示されます。目的の文字をタップすると、アプリケーションの挿入ポイントの位置に表示されます。

入力文字の変換と確定について

各入力パッドを使って入力したひらがなやカタカナの文字列は、入力パッド上の［変換］ボタンをタップすることにより、文節単位で変換することができます。

にほんご	変換前の文字列には、このように破線が引かれています
日本語	［変換］ボタンをタップすると、変換が実行されます
日本語	入力する文字として確定するには、↵をタップします

情報を検索する

検索機能を使うと、パームサイズ PC に登録したあらゆるデータから文字検索を行うことができます。検索を行うには、［スタート］ボタンをタップした上で、［検索］をタップしてください。

情報を見る

内蔵ソフトの多くは、各プログラムごとに登録したデータを一覧表示する「リスト表示」画面を持っています。リスト表示画面から、個別のデータの詳細表示画面に移行することができます。

リスト表示 ⟷ 詳細表示

手書きメモ、ボイスレコーダーの場合

リスト表示では、登録した１データ（＝１ファイル）につき１行の表示となります。

連絡先、仕事、受信トレイの場合

リスト表示では、登録した１データアイテムにつき１行の表示となります。

予定表の場合

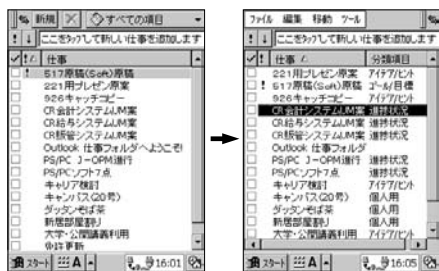
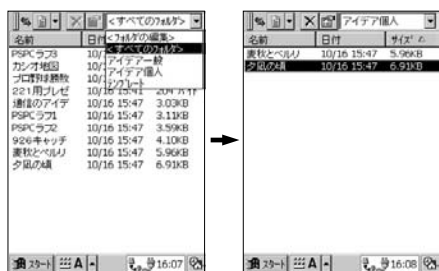
「リスト表示」はなく、予定表に特有の表示形式となります。

リスト表示画面上でできる操作について

リスト表示画面上では、共通して次の操作を行うことができます。

- 特定の列でデータを並べ替えて表示することができます。並べ替えを行いたい列のタイトル部分をタップするたびに、その列の昇順／降順での並べ替えを切り替えることができます。

- 連絡先や仕事では、リスト表示上に表示するデータを、特定カテゴリーに絞ることができます（表示はリスト形式ではありませんが、同じことが予定表上でも行うことができます）。

- 連絡先、仕事、手書きメモ、ボイスレコーダーでは、リスト表示上で表示する行タイトルを何にするかを指定することができます。

- 手書きメモ、ボイスレコーダー、受信トレイでは、ファイルやメッセージをフォルダに分類して管理することができます。このため、リスト表示はフォルダ単位で行うことができます。

各プログラム上での個別の操作方法については、本マニュアルの第３章、第４章、およびオンラインヘルプを参照してください。

パームサイズPCのカスタマイズ

パームサイズPCの使い方に関する各種の設定は、［スタート］→［設定］をタップして表示される各サブメニュー項目をタップして実行できます。

各設定項目は、次の通りです。

アプリケーションの削除
RAM にインストールしたアプリケーションの削除を行います。

オーナー情報
オーナーの個人情報の登録および変更を行います。登録したオーナー情報は、パームサイズ PC の電源 ON 時に画面に表示させたり、アクティブデスクトップ上に表示させることができます。

システム
システム情報を表示します。また、パームサイズ PC のメモリ割り当て（データ記憶用メモリとプログラム実行用メモリの割り当て）の設定を行うことができます。

NOTE
データ記憶用メモリとして割り当てできるのは最大 16MB までです。

スタイラス
タッチスクリーンの補正や、ダブルタップ速度の調節を行うことができます。

ダイヤル
ダイヤルアップ接続を行う際のダイヤル方法を設定します。

タスクバー
タスクバー上に表示するプログラムの設定、タスクバー上の表示項目の設定などを行います。

パスワード
パスワードの設定と解除、およびセキュリティオプションを設定します。パスワードを設定すると、CASSIOPEIA を使うためにパスワード入力が必要となります。

パワーマネジメント
現在のバッテリの状態表示、および電源自動オフまでの時間の設定などを行います。

ボタン
タップコントロール設定（アクションコントロール操作または画面上のスクロールボタン等のタップ操作時の操作リピート間隔の設定）、およびパームサイズPCのプログラムボタンを押したときに起動するプログラムの設定を行います。

ご注意
プログラムボタンに割り当てるソフトは、コンパクトフラッシュカードにインストールせず、本体メモリにインストールしてお使いください。

ボリューム＆サウンド
ボリュームの設定、および操作に応じて鳴らすサウンドの設定などを行います。

画面
デスクトップに表示する画像の指定を行います。

世界時計
日付、時刻、地域、およびアラームの設定を行います。時刻は「自宅」と「訪問先」の 2 通りを設定することができます。

地域
数値、通貨、日付、および時刻の表示方法を設定します。

通信
デバイス名（接続する PCがこのパームサイズPCを認識するための固有の名称）の設定、PC との接続を行う際の接続方法の設定を行います。

入力機能
入力パネルの各種設定を行います。

NOTE
各設定項目についての詳細は、オンラインヘルプを参照してください。

第 2 章　クイックスタート

ここでは、パームサイズ PCの内蔵プログラムを実際に使ってみます。実際の操作を一通りやってみることで、パームサイズPC でどんなことができるかがわかるでしょう。

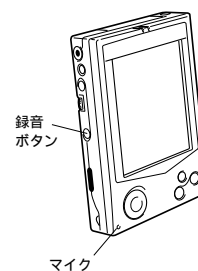
本章では以下の操作の手順を説明します。

- メッセージを録音する
- 「連絡先」にデータを追加する
- 「予定表」に予定を登録する
- 「仕事」にしなければならない要件を登録する
- 「手書きメモ」を使ってメモを取る
- 「アクティブデスクトップ」で情報の一覧を見る

必要がないと思う項目はスキップして、すぐに操作してみたい項目だけをやってみるのも良いでしょう。また、それぞれのプログラムの詳細については、第 3 章またはオンラインヘルプ（［スタート］－［ヘルプ］をタップ）を参照してください。

NOTE
ここでの操作を行う前に、必ず第 1 章をお読みください。パームサイズ PCの画面上の基本的な操作や、文字入力の操作などについての説明は、第 1 章に含まれています。

録音するには　（ボイスレコーダー）

パームサイズ PC に録音を行うのは、パームサイズ PC の操作の中で最もシンプルです。パームサイズ PC を手でつかんで、マイクに向かってしゃべるだけです。手につかんだときに、そのまま録音ボタンを押せるように、録音ボタンは本体の側面についています。

【操作手順】

1. 録音ボタンを押します。
   - 録音ボタンを押しつづけている間、録音が実行されます。
2. マイクに向かってしゃべってください。
3. 録音が終了したら、録音ボタンを離します。
   - 録音が完了すると、ビープ音が鳴ります。

NOTE
- 今録音した内容を再生するには、アクションコントロールを押してください。
- 再生中に再度アクションコントロールを押すと、一時停止できます。一時停止を解除するには、再度アクションコントロールを押します。
- 録音内容のファイルは、画面上で反転表示されています。後で録音内

容がわかるようにファイル名を変更するには、ボタンをタップして名前欄に名前を入力します。

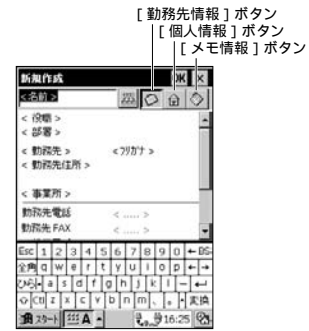
住所録や名刺データを登録するには　（連絡先）

同僚や取引先、友人などの情報は、パームサイズ PC の「連絡先」に登録します。

NOTE
パソコン上に連絡先のデータを持っている場合は、パームサイズPCを使い始めるに当たって、PC上のデータをパームサイズPCに転送してしまうのが効率的です。PC上のデータをパームサイズPCに転送する方法については、第２部で説明します。

【操作手順】

1. ［スタート］－［連絡先］をタップします。
2. ［新規］ボタンをタップします。

- 新規のアドレス入力画面が表示されます。

- はじめは、勤務先情報の入力画面が表示されます。入力できる情報は、勤務先情報、個人情報、メモ情報の３つに分かれています。

3. 名前、フリガナ、勤務先、勤務先住所、勤務先電話、電子メールなどを順次入力していきます。
   - 入力欄を移動するには、アクションコントロールとカーソルボタンの右を同時に押すか、入力したい欄を直接タップしてください。
4. 個人情報を入力するには、ボタンをタップします。
5. 自宅の電話番号を入力します。

6. ［OK］をタップして保存します。連絡先リストで新規連絡先を確認します。

アポイントメントを登録するには（予定表）

取引先とのアポイントメントや、会議の予定などのスケジュール情報は、パームサイズ PC の「予定表」に登録します。

1. ［スタート］－［予定表］をタップします。

2. 日付ボックスの▼をタップして表示されるカレンダーから、予定の日付をタップします。

3. 画面上で予定の時刻の行をタップした上で［新規］ボタンをタップすると、新規の予定カードが表示されます。

4. 予定カード上で、＜予定の詳細＞ボックスの▼をタップし、リストから該当する予定を選択します。

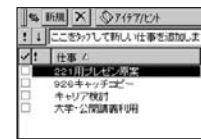
- 該当項目がない場合は、もう一度▼をタップしてリストを閉じ、そのまま次へ進んでください。

5. 入力パネル切り替えボタンをタップして、希望の入力方法を選びます。

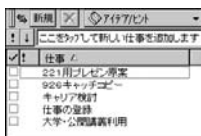
6. キーボードまたは入力パッドを使って、予定を順次入力します。
   - 文字入力の方法については「パームサイズPCに文字を入力する」（16ページ）およびオンラインヘルプを参照してください。

7. ［OK］をタップすると入力内容が登録され、予定表の画面に戻ります。

しなければならないことを登録するには（仕事）

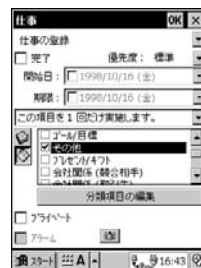
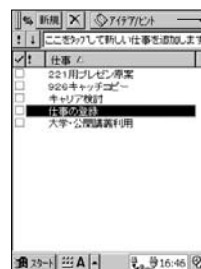
自分がしなければならないことを忘れないようにするために、「仕事」として登録しておくことができます。

1. ［スタート］－［仕事］をタップします。

2. キーボードまたは入力パッドを使って、仕事のタイトルを入力します。

3. キーボードを表示している場合はキーボード上の↵をタップするか、入力パネルの外側をタップすると、その仕事がリストに追加されます。

仕事をカテゴリーに分類する

仕事は、その内容ごとに、カテゴリー分けを行うことができます。

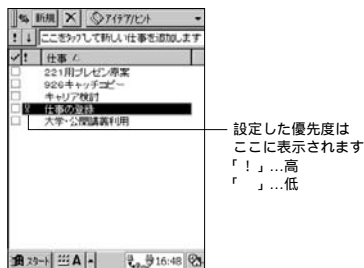
1. リスト上でカテゴリー分けを行いたい仕事をダブルタップします。
   - その仕事の詳細画面が表示されます。

2. ボタンをタップし、表示される分類の一覧から該当するものにチェックマークを付けます。

3. 変更を保存し仕事リストに戻るには、［OK］をタップします。

仕事に優先度を付ける

仕事の重要性やしなければならない期日などに応じて、仕事に優先度を付けることができます。設定は、さきほどカテゴリー分類を行ったのと同じ画面上で行います。

1. ［優先度］の右側の▼をタップします。

2. 変更を保存し仕事リストに戻るには、［OK］をタップします。

メモを取るには　（手書きメモ）

パームサイズ PC の「手書きメモ」を使うと、紙にペンで書くようにメモを取ることができます。紙と違うところは、手書きしたメモを後から編集することができる点です。また、文字をタイプして入力することも可能です。

1. ［スタート］－［手書きメモ］をタップします。

   メモの入力画面が表示されます。（前にメモを保存してある場合は、まずメモのリストが表示されますので、新しいメモを開始するには ボタンをタップします。）

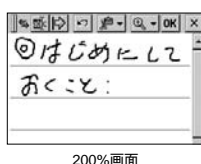
2. この画面上では、タイプした文字の入力、手書き文字をそのまま入力、または図を描くことができます。

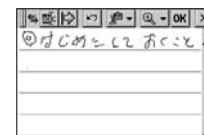
●文字をタイプする

入力パネル表示ボタンをタップして入力パネルを表示させると、画面上の横罫が消え、カーソルが点滅します。この状態で入力パネルからの文字入力ができるようになります。

- 文字入力の方法については「パームサイズPCに文字を入力する」（16ページ）およびオンラインヘルプを参照してください。

●手書き文字をそのまま入力する

入力パネルが表示されていない状態で、画面上の横罫に合わせて文字や図形などを手書きしていくことができます。

200%画面

こうして手書きした文字や図形などは、横罫に沿って入力されたものと見なされ、画面の表示サイズを変更すると罫線に沿って左詰めで表示されます。

100%画面

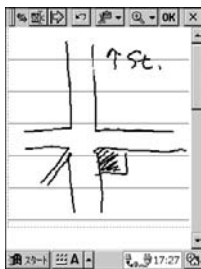
タイプした文字と同じような感覚でコピー／ペーストしたり、罫線に沿って移動することができます。

ご注意

こうして手書きした文字を、後から手書き文字認識で変換することはできません。

●図を描く

入力パネルが表示されていない状態で、画面上の横罫を3本以上またいで一筆書きすると、描いた図形のまわりが点線で囲まれます。

この点線の中から書き足していくと、書き足した部分も点線で囲まれ、図形として認識されます。

3. メモの入力が済んだら［OK］をタップしてメモを保存します。
   - 手書きメモのリスト画面に戻ります。

なお、手書きメモでは、メモ内のテキストの最初の数文字を使ってメモに名前を付けます。メモを別の名前で保存したり、メモを特定のフォルダに入れたりするには、まずリストで当該のメモを選択します。次に［ファイル］－［プロパティ］をタップします。

アクティブデスクトップを見るには

パームサイズ PC の「アクティブデスクトップ」を使うと、今日の予定や現在の仕事などを一覧することができます。

タスクバーの［デスクトップ］ボタンをタップすると、デスクトップが表示されます。

これが「アクティブデスクトップ」です。初期設定では、このようにオーナー情報、予定表に登録されている今日の予定、仕事に登録されている現在作業中の仕事が表示されます。

アクティブデスクトップ上に表示する情報は変更できます。
［スタート］－［設定］－［画面］をタップして、［デスクトップ］タブ内でデスクトップに含めるアイテムを選択します。

他にできることは?

この「クイックスタート」では、パームサイズ PC にできることの一部をごく簡単にご紹介しました。実際には、ここでご紹介したプログラムを使って、もっと多くのことができます。また、パソコンとパームサイズ PC を連携させることでいつでも最新のデータを持ち歩いたり、より効率良く仕事をこなすことができます。さらに、パームサイズ PC から直接インターネットに接続することさえ可能です。

- パームサイズPCの個別のプログラムについては、この後の第 3 章、第 4 章で説明します。詳細な操作手順情報は、パームサイズPCのオンラインヘルプを参照してください。
- パームサイズPCをパソコンと接続して連携させる方法については、第 6 章で説明します。
- パームサイズPCをダイヤルアップ接続でインターネットや会社のサーバに接続する方法については、第 5 章で説明します。

第 3 章　ボイスレコーダーと手書きメモ

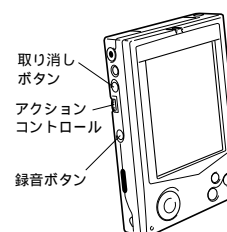
この章では、パームサイズ PC の内蔵ソフトのうち、ボイスレコーダーと手書きメモの各プログラムについて説明します。

NOTE
ボイスレコーダーや手書きメモで記録した音声やメモデータをパソコンに転送して利用することができます。これらの操作については、第 2 部を参照してください。本章では、パームサイズ PC 単体で各ソフトを利用する方法について説明します。

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーは、パームサイズPCの内蔵マイクから入力された音声を録音し、本体のメモリ（またはメモリカード）にデータとして記録するプログラムです。ボイスレコーダーの操作は、パームサイズ PC 本体の録音ボタンやアクションコントロールなどを利用するか、画面上のツールバーボタンやメニューを利用しておこないます。

本体ボタンでできる操作

本体のボタンを使って、録音／再生の基本的な操作を行うことができます。可能な操作は次の通りです。

●録音の開始

録音ボタンを押し下げ、そのままの状態を保ちます。押し下げている間は録音が実行されます。

●録音の終了

押し下げていた録音ボタンを離します。ボタンを離した時点で、録音は終了します。

●再生する録音データの選択

画面上に複数の録音データがリストされている場合は、アクションコントロールを上下に動かすことで、再生する録音データを選択できます。

●再生

アクションコントロールを押します。画面上で現在選択されている録音データが再生されます。

●再生の一時停止

再生中に再度アクションコントロールを押すと、再生が一時停止します。

バーが一時停止している状態

●一時停止したところから再生を再開

再生の一時停止状態で、再度アクションコントロールを押すと、一時停止したところから再生が再開します。

●再生の終了

再生中、または再生の一時停止中に取り消しボタンを押すと、再生が終了します。

●リストのすべてのデータの再生

アクションコントロールを 2 回続けて押すと、現在画面上に表示されているすべての録音データが続けて再生されます。

●早送り（再生中のみ）

再生中にアクションコントロールを下に倒すと、早送りされます。アクションコントロールを離すと、再生が再開されます（ただし早送りした結果、録音データの最後まで送られてしまった場合は、再生は停止します）。

NOTE

録音形式（48 ページ参照）が「PCM」の場合は、早送りはできません。

●巻き戻し（再生中のみ）

再生中にアクションコントロールを上に倒すと、巻き戻されます。アクションコントロールを離すと、再生が再開されます。

画面上のボタン、およびメニューを使ってできる操作

画面上のボタンとメニューを使うと、単なる録音／再生の操作以外にも、録音する音質の設定やデータの保存場所の指定など、ボイスレコーダーのすべての操作が可能です。

●画面上のボタンの機能

ボイスレコーダーの画面上の各ボタンの機能は次の通りです。

① ［削除］ボタン。タップすると、現在画面上で選択されている録音データを削除します。
② ［プロパティ］ボタン。タップすると、現在画面上で選択されている録音データに関する情報の表示とファイル名などの変更を行う画面（プロパティ画面）を表示します。
③ ［音量］ボタン。タップすると、再生音量の設定画面を表示します。
④ ここをタップして表示される一覧で、フォルダを指定することができます。ここで指定するフォルダは画面上にファイルを表示するためのカレントフォルダを指定するもので、録音データの保存場所ではありません。
⑤ ［録音］ボタン。タップすると、録音を開始します。
⑥ ［停止］ボタン。タップすると、録音または再生を終了します。
⑦ ［再生／一時停止］ボタン。タップすると、現在画面上で選択されている録音データの再生を行います。また、再生中の一時停止、一時停止ポイントからの再生の再開を行う際にもこのボタンを使います。

⑧ ［早送り］ボタン。タップすると、録音データの後の方に移動します。
⑨ ［巻き戻し］ボタン。タップすると、録音データの前の方に移動します。
⑩ 再生に合わせて、このツマミが左から右へ移動します。このツマミをドラッグすることで、録音データ上の再生を開始する位置を移動することができます。

●ファイルの表示について

画面上には、現在選択されているフォルダ内の録音データファイルが一覧表示されます。ファイルの並び順は、ファイル名や作成日、ファイルサイズなどによって並べ替えることができます。

フォルダを指定します。すべてのフォルダのファイルを表示したい場合は、<すべてのフォルダ>を選択します。

タップした項目にこの△マークが付き、その項目で現在ファイルがソートされていることを示します。タップするたびに△／▽と向きが切り替わり、△の場合は昇順、▽の場合は降順ソートとなります。なお、ここに表示されるファイルの属性情報は、［ツール］－［オプション］で表示されるダイアログの［項目］タブ内で指定します。

●フォルダの作成／名前変更／削除について

ここで<フォルダの編集>を選択すると表示されるダイアログ上で、フォルダの新規作成、既存のフォルダの名前変更および削除を行うことができます。

●録音データのプロパティについて

録音内容は、録音を行った時点では自動的に「録音 1」、「録音 2」という連番のファイル名が付けられます。このファイル名やファイルの保存場所などは、後からファイルのプロパティ画面を使って変更することができます。

画面上でファイルを選択し［プロパティ］ボタンを押すと、そのファイルのプロパティ画面が表示されます。

●**録音形式の設定について**

ボイスレコーダーの初期設定では､録音データの容量を小さく押さえることができる「TrueSpeech」という形式で録音データを保存します。TrueSpeech は 10 秒の録音で約 10K バイトの容量しか使わないため、メモリの少ないパームサイズPCに向いているうえ、人間の声の録音に適しています｡ただし高音質ではありませんので、より音質の高い録音を行いたい場合は、［ツール］－［録音形式］を選択すると表示されるダイアログ上で、「PCM」を選択してください。録音したファイルは拡張子が .wav となり、パソコンに転送したときにそのまま再生することができます。

また、音質は問わないが長時間録音したいという場合は､「モバイルボイス」を選択してください。同じ容量のメモリで、TrueSpeech の約 3 倍の時間録音が可能です。

NOTE

- モバイルボイス形式で録音した音声データを、パソコン上で再生するには、あらかじめパソコン上に Windows CE サービスをインストールしておくことが必要です｡Windows CEサービスのインストールについては、第 6 章を参照してください。
- モバイルボイス形式では、残り録音可能時間が録音時にリアルタイムに変化しません。
- 録音形式が PCM の場合、属性に「ステレオ」を選択できますが、ステレオサウンドでの再生はできません。

●**録音時の録音場所の設定について**

メモリカードを利用しており､録音データをメモリカードに直接書き込みたい場合は､［ツール］－［オプション］を選択して表示されるオプションダイアログの［全般］タブ上で「メモリカードに保存する」にチェックを付けてください｡このチェックボックスは、メモリカードをパームサイズ PC に装着していないとチェックすることはできません。

●**本体メモリの設定について**

本体メモリを使って録音する場合は､録音によってメモリ（データ記憶領域）不足にならないように、メモリ管理に注意する必要があります。特に、録音中に｢メモリが不足しています｣というメッセージが表示される場合には､必ず次の操作を実行してデータ記憶用メモリを確保してください。

［スタート］－［設定］－［システム］で表示されるシステムのプロパティの［メモリ］タブで、データ記憶用メモリを多めに取ってください。

NOTE

データ記憶用メモリは最大 16MB までです。

データ記憶用メモリが不足している場合は､メモリカードをご利用ください。

手書きメモ

手書きメモを使うと､画面上のキーボードを使ってタイプした文字や手書き認識機能を使って変換した文字の入力だけでなく､手書きした文字や図形をそのまま入力することができます。画面上に直接描いた図形を後から編集することもできます。

手書きメモを使うには、［スタート］→［手書きメモ］の順で画面をタップします。

新規のメモを作成するには

［新規］ボタンをタップすれば新規のメモを作成できますし､［新規］の矢印をタップして､あらかじめ書式や入力項目が設定されているテンプレートを利用することもできます。

手書きメモに文字を入力するには

手書きメモを使えば､自分にとっていちばん簡単な方法で情報を入力できます。入力パネルからキーボードを使ってタイプすることも、手書き文字を使って書くこともできるのは、第1章で述べたとおりです。また、画面にじかに文字や絵を書くこともできます。

入力パネルを表示すると、カーソルのあるのが分かります。ここにテキストが入るわけです。

入力パネルを隠すと､カーソルが消え､画面上のどこにでも文字や絵を書くことができます。

手書きメモに文字や図形を手書きするには

ペンを使って、画面にじかに文字や絵を書くことができます。

描画を作成するには、3 本以上の横罫線をまたいで一筆書きします。これによって描画ボックスが表示され､その後は､描画ボックス内でのペンの移動やタップが描画の一部となります。

NOTE

- 手書きのデータは、表示をスクロールしたときに一部が欠けて表示される場合があります。この場合は、再度スクロールすると表示されます。
- 全画面表示に切り替えれば、できるだけ多くの内容を画面に表示できます。[表示] ー [全画面表示] をタップします。[元に戻す] をタップすれば、コマンドバーが再び表示されます。

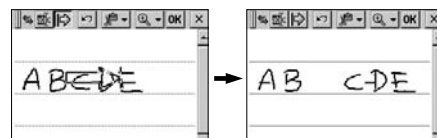
文字の書式を設定するには（メモの編集とフォーマット）

キーボードまたは手書き文字を使って入力したテキストは編集できます。また、手書きのメモやスケッチも編集できます。編集したいテキストや絵を選択するには、入力パネルを隠し、[選択] ボタンをタップして、ペンを当該のテキストまたは描画までドラッグします。

NOTE

[選択] ボタンをタップする代わりに、アクションボタンを押さえながらペンをドラッグする方法もあります。

ボタンをタップして [書式] をタップすると、書式ダイアログが表示されます。設定できる書式は、選択したもの（テキスト、描画）によって異なります。

また、ボタンを使えば、画面上の要素間のスペースを拡大 / 縮小できます。

NOTE

ボタンをタップする代わりに、取り消しボタンを押さえながらペンをドラッグしても、スペースの挿入・削除が可能です。

作成したメモを保存するには

メモを書き終えたら、[OK] をタップしてメモを保存し、メモのリストに戻ります。手書きメモは、次の方法で自動的にメモに名前を付けます。

- タイプされたテキストの第1行の最初の文字列が、メモの名前として用いられます。
- メモにテキストが含まれないが、そのメモがフォルダに割り当てられている場合は、そのメモのファイル名はフォルダ名＋通し番号となります。
- テキストが含まれず、フォルダが割り当てられていない場合は、そのメモにはメモ 1、メモ 2... という名前が付けられます。

自分でメモに名前を付けたり、メモをフォルダに入れたり、ファイル形式を変えたりするには、[OK] をタップする代わりに、[ファイル] ー [名前を付けて保存] をタップします。

手書きメモの中のそれぞれのメモは1つのファイルです。手書きメモファイルは、パソコン上の Microsoft Word と互換性のある手書きメモ（.pwi）形式で保存されます*。ファイル形式については、ほかにリッチテキスト形式（.rtf）、テキスト形式（.txt）の 2 種類から選択できます。これらの形式で保存した場合は、手書きの文字や絵の情報（テキスト形式の場合は、加えてテキストの書式情報）が失われます。

* 手書きメモファイル（.pwi）は、Windows CE サービスで Microsoft Word ファイル（.doc）と相互に変換されます。詳しくは「ファイルの変換について」（103 ページ）を参照してください。

メモを整理するには

メモを忘れずにおくには、メモの名前を変えてフォルダに入れておくといいでしょう。例えば、「創作メモ」といったフォルダを作成して、関連のメモをすべてそのフォルダに入れればいいわけです。

選択したフォルダにあるメモはすべて、リスト表示されます。

第 4 章　ポケットアウトルック（Microsoft Pocket Outlook）

Microsoft Pocket Outlook のプログラムには、予定表、連絡先、仕事、受信トレイの４つが含まれています。Windows CE サービスを使うと、パソコン上の Microsoft Outlook、Microsoft Schedule+、または Microsoft Exchange とパームサイズ PC 上のこれらのプログラムとの間で「同期」を行うことができます。Windows CE サービスは、パームサイズ PC 上の Pocket Outlook データの更新状況と、パソコン上の Outlook などのデータの更新状況を比較して、双方向でデータの更新を行うことができます。Windows CEサービスを使った情報の同期については、第 6 章で説明します。

予定表、連絡先、および仕事の各プログラムは、「カード表示」と「リスト表示」という 2 種類の表示画面を持っています。「カード表示」画面上では、各プログラムに登録した個別のデータの詳細を見ることができます。「リスト表示」画面上では、各プログラムのすべてのデータを一覧で見ることができます。

受信トレイは電子メールメッセージを扱うプログラムです。パソコン上の Outlook または Exchange で送受信したメッセージを「同期」によってダウンロードした上で閲覧したり、パームサイズ PC 上で作成した返信メッセージを「同期」によってパソコンに転送、パソコンから送信するという使い方ができます。また、パームサイズ PC をダイヤルアップ接続（詳しくは第 5 章を参照）によってインターネットサービスプロバイダなどに接続し、パームサイズ PC で直接電子メールメッセージの送受信を行うこともできます。

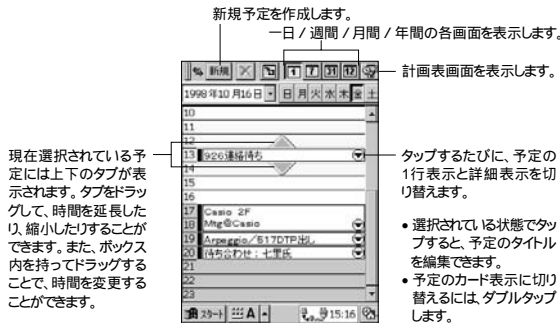
予定表、連絡先、仕事、受信トレイの各プログラムは、[スタート] メニューをタップして各プログラムをタップすることで、いつでも切り替えて利用することができます。

NOTE

本章では、各プログラムに関する概要を説明します。各プログラムの操作手順情報や補足情報などは、オンラインヘルプから得ることができます。オンラインヘルプを見るには、各プログラムの画面の表示中に［スタート］－［ヘルプ］をタップし、知りたい情報のタイトルを探してタップしてください。

予定表：予定の登録と会議の作成

予定表を使うと、人と会う約束や会議の日程、家族の誕生日と言ったさまざまな予定を登録し、管理することができます。予定表は各種の表示画面（一日表示、週間表示、月間表示、計画表、年間カレンダー）を備えており、登録した予定を目的に応じたいろいろな見方をすることができます。各表示画面を切り替えるには、それぞれ対応したボタンをタップします。

●予定表のリスト表示画面

●予定表のカード表示画面

NOTE

パームサイズ PC の前面にあるプログラムボタンに予定表を割り当て、数秒押し続けると、予定表を起動すると同時に、新規の予定を入力するためのカード表示画面に直接入ることができます。

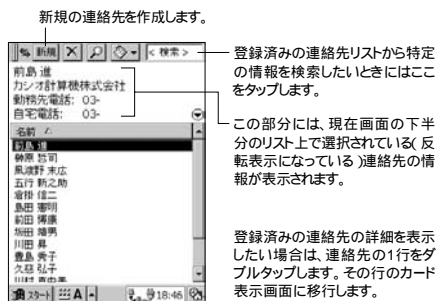
会議の作成について

パソコン上の Outlook または Schedule+、あるいはパームサイズ PC 上の Pocket Outlookの受信トレイを使って電子メールのやりとりを行っているメンバーの会議を召集する場合は、予定表の「会議の作成」を使うことができます。「会議の作成」により、自分のパームサイズPCの予定表への入力と同時に、会議への参加メンバーへの会議通知を作成し、受信トレイから送信することができます。会議通知を受信したメンバーは、会議への参加／不参加を電子メールで返信します。参加すると返信したメンバーの予定表には、自動的に会議のスケジュールが登録されます。

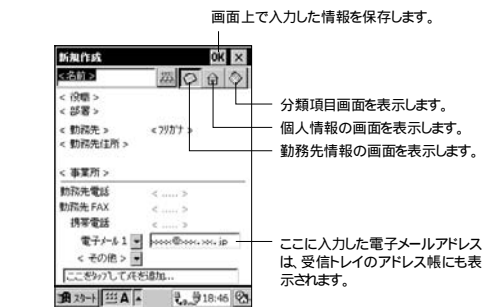
電子メールによって会議通知を行う場合は、あらかじめ「連絡先」にメンバーの電子メールアドレスを登録しておく必要があります。また、受信トレイを使った電子メールの送受信ができるようにパームサイズPCのセットアップを行うことももちろん必要です。以下の「連絡先：友人や同僚の情報を登録する」、61ページの「受信トレイ：電子メールを送受信する」をそれぞれ参照してください。

連絡先：友人や同僚の情報を登録する

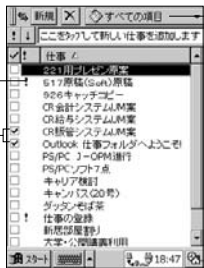
「連絡先」を使うことで、友人や同僚、取引先の人々などのさまざまな情報を登録しておき、いつでも参照することができるようになります。パソコンとの同期を利用することで、すでにパソコン上に登録されているデータは即座にパームサイズPC側に転送することができますし、パソコン／パームサイズPCのどちらで入力したデータも、同期によって常に最新の状態に保つことができます。連絡先のデータは、他のWindows CEデバイスとの間で赤外線ポートを通じて転送することができます。また、受信トレイを利用する場合は、連絡先に登録されている電子メールアドレスを参照し、簡単に入力することができます。

●連絡先のリスト表示画面

●連絡先のカード表示画面

NOTE

パームサイズ PC の前面にあるプログラムボタンに連絡先を割り当て、数秒押し続けると、連絡先を起動すると同時に、新規の連絡先を入力するためのカード表示画面に直接入ることができます。

仕事：しなければならないことのリストを作成する

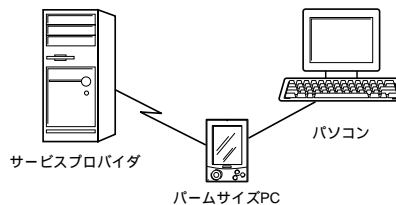
「仕事」を使うと、自分がしなければならないことの一覧表を作成して、管理することができます。「しなければならないこと」の一つ一つ（以下「仕事データ」と呼びます）に対しては、優先度を付けたり、カテゴリー分類することができます。期日やアラームの設定も可能です。仕事データは、アクティブデスクトップや予定表の「計画表」画面上にも表示されます。

●仕事のリスト表示画面

●仕事のカード表示画面

NOTE
「開始日」だけの仕事のデータは登録できません。

受信トレイ：電子メールを送受信する

パームサイズPCの受信トレイは、以下のいずれかの方法で電子メールメッセージを扱うことができます。

- パソコン上の Microsoft Exchange または Microsoft Outlook を使って送信／受信した電子メールメッセージを同期することができます。また、パソコン上の電子メールメッセージを、パームサイズ PC に個別に転送することもできます。
- パームサイズ PC で直接電子メールの送受信を行うことができます。このとき、パームサイズPCは、インターネットサービスプロバイダまたは会社のサーバなどにダイヤルアップ接続する必要があります。

メッセージの同期
電子メールのメッセージは、Windows CE サービス上の［ActiveSync の設定］であらかじめ設定しておけば、その他のデータと同時に同期されます。パームサイズPCとパソコン間の同期の際には、次のようなことが実行されます。

- パソコン上のExchangeまたはOutlookの受信トレイから、パームサイズ PC の受信トレイに対して、メッセージがコピーされます。双方のメッセージはリンクされているため、**パームサイズ PC 側で受信トレイにあるメッセージを削除した場合は、次回の同期時にはパソコン上の同じメッセージは自動的に削除されます。**

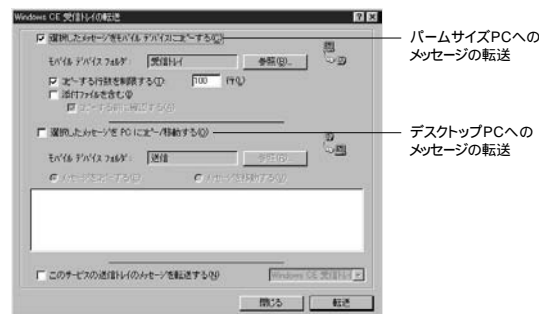
- パームサイズPC上で作成した送信メッセージ（新規メッセージや返信メッセージなど）は、パームサイズ PC 上の送信トレイから、パソコンの送信トレイにコピーされます。パソコン上にコピーされたこうしたメッセージは、パソコン上のExchangeまたはOutlookによる次回の通信時に送信されます。

パソコンのExchangeやOutlookで設定することができる会議の作成や添付書類の受信の制限などの設定は、パームサイズ PC 上でも行うことができます。

Windows CEサービスによる同期の初期設定では、受信トレイのデータは同期しないようになっています。同期の設定は、モバイルデバイスウィンドウ上の［ActiveSync の設定］を使って行います。

ActiveSync の設定方法については、105 ページの「ActiveSync の設定」を参照してください。

Windows CE受信トレイの転送
「Windows CE受信トレイの転送」は、パソコン上にWindows CEサービスをインストールすることにより、ExchangeやOutlookの［ツール］メニューに追加される機能です。Windows CE 受信トレイの転送を使うと、Exchange や Outlook とパームサイズ PC の間で、特定のメッセージを相互に転送することができます。こうして転送したメッセージは、受信トレイ以外のフォルダに移動することもできます。
「Windows CE受信トレイの転送」を使って転送したメッセージは、パソコンとパームサイズ PC の間でリンクされません。このため、この方法で転送したメッセージは、他方の PC に影響を与えることなく、編集や削除を行うことができます。
また「Windows CE 受信トレイの転送」を使って、パームサイス PC 上のパソコンとは異なるソースから受信したメッセージを転送することもできます。

「Windows CE 受信トレイの転送」でメッセージを転送するには、Exchange またはOutlook 上の［ツール］メニューから［Windows CE 受信トレイの転送］を選択し、表示されるダイアログ上で必要な指定を行ってください。

操作方法については、Windows CE サービスのヘルプを参照してください。

ダイヤルアップ接続による電子メールの送受信

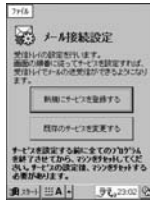
パソコンとの間で電子メールのメッセージを同期させるだけでなく、外出先でパームサイズ PC から直接電子メールの送受信を行うことができます。出先での電子メールの送受信は、デジタル携帯電話などの電話回線を経由してインターネットなどに接続する「ダイヤルアップ接続」を利用します。

ダイヤルアップ接続について

出先で電子メールの送受信を行うには、インターネットサービスプロバイダなどにパームサイズPCをダイヤルアップ接続することが必要です。ダイヤルアップ接続のための設定については、第5章を参照してください。

- ダイヤルアップ接続を行うには、デジタル携帯電話（またはPHS）と専用の接続ケーブル、あるいはコンパクトフラッシュカードタイプのモデムが必要です。接続用のケーブルや、コンパクトフラッシュモデムカードについての情報は、別冊のハードウェアマニュアルを参照してください。
- ユーザ認証などに専用のソフトが必要なインターネットサービスプロバイダには接続できません。
- POP3/SMTPをサポートしているインターネットサービスプロバイダに接続することが可能です。

★メール接続設定について

CASSIOPEIA には、ダイヤルアップ接続の設定から、メールの送受信を行うための各種設定までを、より簡単に行うための専用プログラムである「メール接続設定」が内蔵されています。画面に順次表示される指示に従ってプロバイダに関する情報を入力していくだけで、設定作業を一括して行うことができます。

メール接続設定について詳しくは、「CASSIOPEIAアプリケーションガイド」を参照してください。

インターネットメールサービスを設定するには

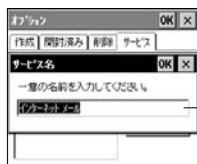
受信トレイでは、複数のメールサービスを利用することができます。利用したいメールサービスごとに設定を行った上で、名前を付けておくことが必要です。

パームサイズPCには、インターネットサービスプロバイダに接続するためのインターネットメールサービスがあらかじめインストールされています。接続先のプロバイダごとに、インターネットメールサービスの設定を行います。

インターネットメールサービスの設定は、次の手順で行います。

1. 受信トレイ上の［作成］メニューから［オプション］を選択し、［サービス］タブを開いてください。

2. ［追加］をタップすると、サービス選択画面が表示されます。

3. ［OK］をタップします。サービス名を入力するダイアログが表示されます。

4. サービスの定義画面が表示されます。接続先の情報を入力してください。

5. ［終了］をタップすると、設定が保存されます。

NOTE

- 手順4の画面上の「リターンアドレス」欄には、返信メッセージの送付先として別のメールアドレスを使いたい場合に、そのアドレスを入力してください。通常は空欄で構いません。
- 手順5で［終了］をタップする代わりに［次へ］をタップして、メールサーバへの接続や電子メールの送受信に関する各種設定を行う画面に移ることができます。詳しくは、パームサイズPCのオンラインヘルプを参照してください。

電子メールを受信／送信するには

受信トレイを使って、現在設定されているサービスへの接続を行うと、接続先のメールボックスにある未読の電子メールの受信と、送信トレイ上の送信待ちの電子メールの送信が行われます。

現在選択されているサービスの確認

受信トレイの［サービス］メニューをタップすると、現在選択されているサービスを確認できます。

現在選択されているサービスに「•」印が付きます。

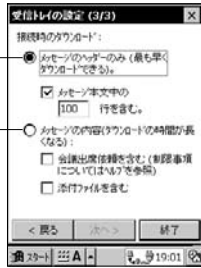
インターネットメールサービスを一つだけ設定してある場合は、常にそのサービスが選択されますが、複数のサービスを設定してある場合は、パームサイズPCで送信メッセージの作成および電子メールの送受信を開始する前に、正しいサービスが選択されているかどうかをご確認ください。現在選択されているサービスとは別のサービスを選択する場合は、そのサービス名をメニューから選択して「•」印を付けてください。

電子メールの受信設定について

受信トレイを使ってインターネットサービスプロバイダなどに接続して電子メールの受信を行う場合、初期設定では、各メッセージの最初の100行までが受信され、メールへの添付ファイルはダウンロードしないように設定されています。

- 途中まで受信したメッセージを、次回のサーバへの接続時に全文受信したい場合は、全文受信したいメッセージを画面上で選択した上で［サービス］－［全文をサーバからコピー］を選択してください。

アイコンの形が に変わり、次回接続時に全文受信が行われることを示します。

- サーバに接続するごとに受信するメッセージの行数の変更は、サービスのプロパティで行うことができます。［サービス］メニューから［プロパティ］を選択し、表示されるダイアログ上で［次へ］を2回タップしてください。

NOTE

- パソコンとの同期では、電子メールメッセージは最初の50行のみがパソコン上の Exchange または Outlook からコピーされます。パソコンとの同期でパームサイズPCに読み込まれたメッセージを選択して［サービス］－［全文をサーバからコピー］を選択した場合は、次回の同期時にパソコンからパームサイズPCに当該メッセージの全文がコピーされます。
- サービスのプロパティについての詳細は、オンラインヘルプを参照してください。

電子メールを受信するには

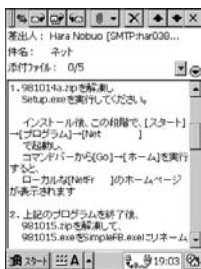
NOTE

ダイヤルアップ接続については、64ページの「ダイヤルアップ接続について」および第5章を参照してください。

電子メールを受信するには、インターネットサービスプロバイダなどにダイヤルアップ接続ができる状態で［サービス］－［接続］を選択してください。
自動的に設定されているサービスに接続され、接続先のサーバ上の未読メールの読み出しと、パームサイズPCの送信トレイ上にある未送信のメールの送信が行われます。受信トレイの画面上では、受信した電子メールが次のように表示されます。

NOTE

サーバ上に保管されているメールの［サイズ］の列には、ダウンロード済みのサイズとメール本来のサイズが表示されます。例　1/2KB

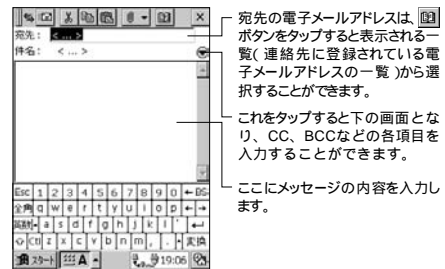
メールの内容を表示するには、表示したい行をダブルタップしてください。

NOTE

メールの送受信を完了した時点でダイヤルアップ接続を切断するかどうかの設定は、［サービス］－［プロパティ］で設定します。詳しくはオンラインヘルプを参照してください。

メールを送信するには

前述のように、［サービス］－［接続］を選択してサーバへの接続を行うと、メッセージの送受信が自動的に行われます。送信したいメッセージは、接続を行う前にあらかじめ作成しておきます。

(1) 新規の送信メッセージを作成するには

新規のメッセージを作成するには、 ボタンをタップします。

入力がすんだら、 をタップします。作成したメッセージが送信トレイに保存され、次回の接続時に送信されます。

(2) 受信したメッセージへの返信を作成するには

返信したいメッセージを受信トレイの一覧上で選択（または受信メッセージを表示）して、ボタンをタップし［差出人へ返信］を選択します。
メッセージの送信元宛の新規メッセージが作成されます。

入力がすんだら、をタップします。作成したメッセージが送信トレイに保存され、次回の接続時に送信されます。

第２部　パソコンとの連携と通信

第２部では、パームサイズPCをパソコンやダイヤルアップネットワークと接続する方法、および使い方について説明します。

第５章　ダイヤルアップ接続

パームサイズPCで直接電子メールの送受信を行う場合には、前提条件として「ダイヤルアップ接続」が必要となります。ダイヤルアップ接続とは、電話回線を通じて遠隔地のコンピュータ（リモート・コンピュータ）に接続することです。ここでは、ダイヤルアップ接続によるインターネットサービスプロバイダへの接続、会社のホストコンピュータへの接続方法などについて解説します。

第６章　Windows CE サービスとチャンネル

パームサイズPCをパソコンと連携して利用するには、PC側に「Windows CEサービス」というソフトウェアをインストールすることが必要です。ここではWindows CEサービスのインストール方法、および実際の使い方について説明します。また、Windows CEサービスをインストールすることによって利用可能になる「チャンネル」機能についても説明します。

第７章　ファイルの転送とデータのバックアップ

Windows CEサービスを使うと、パソコンとパームサイズPC間のデータの同期だけでなく、パームサイズPCのデータのバックアップをパソコン上に作成したり、個別のファイルを相互に転送したりすることができます。また、パームサイズPCのRAMにプログラムをインストールすることができます。ここではこれらの各項目に加えて、赤外線通信によるパームサイズPC（およびWindows CEデバイス）間でのファイル転送について説明します。

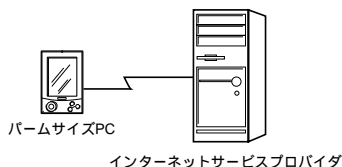
第５章　ダイヤルアップ接続

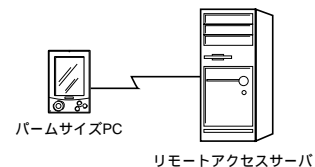
電話回線とモデムを使って、パームサイズPCを遠隔地のコンピュータ（リモートコンピュータ）に接続することを「ダイヤルアップ接続」と言います。ダイヤルアップ接続を行うと、パームサイズPCで直接電子メールの送受信を行ったり、自分のPCと接続すれば出先から同期を行うことも可能です。
ここでは、ダイヤルアップ接続を行うことができる接続相手のコンピュータの種類について解説した上で、接続を行うための設定および操作の説明を行います。

リモートコンピュータについて

パームサイズPCからダイヤルアップ接続することができるリモートコンピュータには、次のようなものがあります。

(1) インターネットサービスプロバイダ

インターネット接続サービスの提供会社（プロバイダ）と契約して、インターネットに接続するケースです。そのプロバイダのメールアカウントによる電子メールの送受信が可能です。このケースでは、パームサイズPC上で必要となる各種の設定に関する情報（接続先の電話番号や、接続時のユーザー名／パスワード等）は、サービスプロバイダから提供されます。

(2) 会社のリモートアクセスサーバ

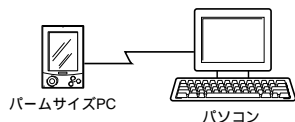
自分の会社のサーバに外部から接続するケースです（会社側が、外部の電話回線を通じての自社サーバへの接続を行う環境を用意している場合です）。会社のメールアカウントによる電子メールの送受信が可能です。このケースでは、接続先の電話番号やパームサイズPC上での設定に関する情報は、会社のサーバを管理しているシステム管理者に問い合わせてください。

(3) 会社で利用している自分のパソコン

パームサイズPCとの同期で利用している自分のパソコンに、出先から接続するケースです。この接続を行うと、パームサイズPCとパソコン間のデータの同期を、電話回線を通じて出先で行うことが可能となります。
接続方法としては次の２つがあります。

(3-a) 会社のリモートアクセスサーバ経由で接続する場合

会社のリモートアクセスサーバに接続でき、かつそのサーバに自分のパソコンがネットワークで接続されていることが前提となります。また、パソコンには、あらかじめWindows CEサービスがインストールされている必要があります（Windows CEサービスのインストールについては、第６章を参照）。

(3-b) 直接ダイヤルアップ接続する場合

パソコンにモデムと電話回線が接続されており、リモート接続のためのセットアップが済んでいることが前提となります。また、パソコンには、あらかじめWindows CEサービスがインストールされている必要があります（Windows CEサービスのインストールについては、第6章を参照）。

NOTE

出先からの同期を行うためのパソコンのセットアップについては、83ページの「リモートコンピュータのセットアップ」を参照してください。

パームサイズPCのダイヤルアップ接続設定

パームサイズPC上でのダイヤルアップ接続の設定は、「リモートネットワーク」を使って行います。設定を行う前に、次の点をご確認ください。

(1)接続先に関する情報を手元にそろえておく

- 電話番号
- ネームサーバ情報（プライマリ DNS）
- 通信速度など、接続環境に関する情報

(2)設定を行う前に、通信に利用する電話／モデム等をセットする

ダイヤルアップ接続の設定時には、接続に利用するモデムの指定が必要です。デジタル携帯電話やPHSを直接パームサイズPCに接続して通信を行う場合は、あらかじめこれらを接続した状態にしておいてください。また、カードタイプのモデムを利用して通信を行う場合は、モデムカードをあらかじめパームサイズ PC のコンパクトフラッシュカードスロットにセットしておいてください。

なお、カードのセットのしかたやデジタル携帯電話／ PHS のパームサイズ PC への接続方法については、別冊のハードウェア取扱説明書を参照してください。

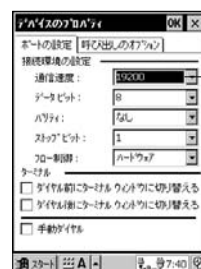
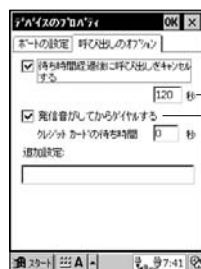
パームサイズ PC 上でのダイヤルアップ接続の設定は、次の手順で行います。

1. ［スタート］メニューをタップし、［プログラム］→［通信］→［リモートネットワーク］の順でタップします。

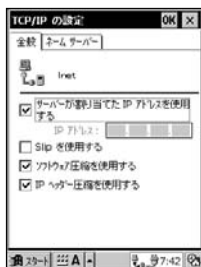
2. 新規の接続設定を作成するために、［新しい接続］アイコンをダブルタップします。［新しい接続］画面が表示されます。

3. 接続名を入力し、「ダイヤルアップ接続」を選択します。
   - 設定が済んだら［次へ>］をタップしてください。［新しいダイヤルアップ接続］画面が表示されます。

4. ［モデムの選択］ボックスをタップして表示されるドロップダウンリストから、接続に利用するモデムを選択します。

5. ［モデムの設定］ボタンをタップします。
   - 表示される［デバイスのプロパティ］画面上で、以下の設定を行ってください。

ポートの設定

呼び出しのオプション

- ［デバイスのプロパティ］画面上のすべての設定が完了したら、［OK］をタップして画面を閉じます。［新しいダイヤルアップ接続］の画面に戻ります。

6. 続いて［TCP/IP の設定］ボタンをタップします。
   - 表示される［TCP/IPの設定］画面上で、以下の設定を行ってください。

全般

ネームサーバ

- ［TCP/IP の設定］画面上のすべての設定が完了したら、［OK］をタップして画面を閉じます。［新しいダイヤルアップ接続］の画面に戻りますので、［次へ>］をタップしてください。

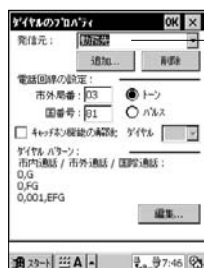
7. 接続先の電話番号を入力します。

8. 設定が済んだら、［完了］をタップしてください。最初の画面に戻ります。

NOTE

以上の設定は、接続先 1 カ所につき 1 つずつ必要です。たとえば、サービスプロバイダと、会社のサーバへの接続を行う場合は、各々の接続を行うためのアイコンを別々に作成してください。

ダイヤルアップ接続時の電話番号について

ダイヤルアップ接続時に実際に発信される電話番号は、前ページの手順7の画面上での設定と、［ダイヤルのプロパティ］の設定によって決まります。［ダイヤルのプロパティ］は、［スタート］ボタンをタップし、［設定］、［ダイヤル］の順にタップすると表示されます。

「勤務先」にすると、0発信されます。デジタル携帯電話やPHSから発信する場合は「自宅」にすると良いでしょう。

［ダイヤルのプロパティ］では、作成した各接続に対して、実際にかけるときの電話番号を発信元ごとに指定できます。接続時に現在の発信元をこの画面で指定することで、その発信元に応じたダイヤルパターンでダイヤルすることができます。

例えばダイヤルアップ接続の設定で電話番号を以下のようにしたとします。

市外局番：03　電話番号：123-4567

自宅や出先からデジタル携帯電話を使って接続する場合は市外局番を含める形で、会社から接続する場合は会社の電話回線を使うので市外局番は含めず、かつ0発信で、というような設定が［ダイヤルのプロパティ］を使うことで可能になります。

［自宅］　を選択して発信　→　03-123-4567
［勤務先］を選択して発信　→　0-123-4567

発信元は、必要に応じていくつでも追加することができます。発信元ごとに、ダイヤルパターンを個別に設定することが可能です。ダイヤルパターンの設定について詳しくは、オンラインヘルプを参照してください。

リモートコンピュータのセットアップ

パームサイズPCからリモートコンピュータに接続するには、リモートコンピュータ側が接続可能な状態になっていることが必要です。以下、リモートコンピュータの種類ごとに、必要条件を示します。

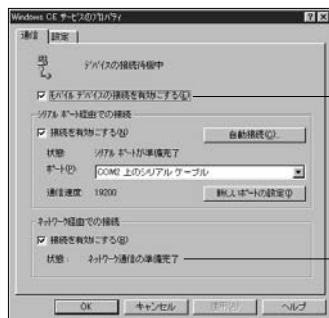
サービスプロバイダや会社のサーバの場合

サーバが稼働中で、アクセスポイントの電話番号からログインできる状態であることが前提となります。サーバ保守のため毎月～数ヶ月に1度程度アクセスできなくなることがありますので、サービスプロバイダや会社のシステム管理者からの案内に注意してください。また、電話が話し中で接続できない場合がありますが、このような場合はしばらく時間をおいて接続しなおすようにしてください。

自分のパソコンにリモート接続する場合

出先から同期するための自分のパソコンに接続する場合は、パソコンに直接接続されているモデムを経由して接続するか、ネットワーク経由での接続が可能です。

- 事前にパームサイズPCとパソコンのパートナー関係を確立しておくこと。
- パソコンの電源が入っており、Schedule+ ／ Exchange ／ Outlook のいずれかが自分のユーザープロファイルで動作していること。
- モバイルデバイスウィンドウの右下に、「モバイルデバイスの接続待機中」と表示されていること。
- ［ActiveSync の設定］ダイアログボックスで、「同期を有効にする」にチェックが付いていること。
- パソコンにモデムが接続されており、モデムの電源が入っていること。また、特定の電話番号で、外部からそのモデムにアクセス可能であること（モデム経由での接続の場合のみ）。
- ［Windows CEサービスのプロパティ］ダイアログ（モバイルデバイスウィンドウの［ファイル］メニューから［通信］を選択すると表示されます）が以下のように設定されていること。

- ネットワーク経由で接続する場合は、［Windows CEサービスのプロパティ］ダイアログが以下のようになっていること。

パームサイズPCをダイヤルアップ接続するには

必要なセットアップがすべて済んだら、パームサイズPCをリモートコンピュータにダイヤルアップ接続してみましょう。

【操作前の準備と注意】

- 専用のケーブルを使ってパームサイズPCをデジタル携帯電話（または PHS）に接続するか、コンパクトフラッシュモデムカードを使って一般の電話回線（アナログ回線）に接続しておきます。接続のしかたについては、別冊のハードウェア取扱説明書またはコンパクトフラッシュモデムカードに付属の取扱説明書を参照してください。
- コンパクトフラッシュモデムカードをご利用の場合は、ACアダプタのご使用をお勧めします。
- デジタル携帯電話（または PHS）との接続ケーブルは、通信が終了したら必ず抜いてください。

【サービスプロバイダまたは会社のサーバに接続する場合】

1. ［スタート］→［プログラム］→［通信］の順にタップします。

2. 接続先をタップします。
   - 次の画面が表示されます。

3. 画面上の「電話番号：」の部分に、接続に利用する電話の種類に合った正しい電話番号が表示されているのをご確認ください。
   - もし正しい電話番号が表示されていない場合（デジタル携帯電話から発信するのに市外局番から始まっていない、単に番号が間違っている、など）は、82ページの「ダイヤルアップ接続時の電話番号について」を参照して設定を変更してから、操作をやり直してください。
4. 接続を実行するには、［接続］をタップします。
   - 画面に接続中を示すダイアログが表示されます。
   - 接続が完了すると、ダイアログは自動的に閉じます。
   接続状態は、タスクトレイのアイコン表示で確認できます。

   - この状態で、受信トレイを使った電子メールの送受信を行うことができます。

NOTE
受信トレイを起動して、受信トレイから直接接続を開始することもできます（通常の利用では、この操作の方が多いでしょう）。受信トレイからの接続方法については、第4章の「ポケットアウトルック」の受信トレイの項目を参照してください。

【同期するために自分のパソコンに接続する場合】

1. ［スタート］－［プログラム］－［通信］－［ActiveSync］の順にタップします。
   - 次の画面が表示されます。

2. ［接続］をタップします。
   - ダイヤルアップ接続の画面が表示されます。

3. 接続に利用する電話の種類に合った正しい電話番号が表示されているのをご確認ください。
   - もし正しい電話番号が表示されていない場合(デジタル携帯電話から発信するのに市外局番から始まっていない、単に番号が間違っている、など)は、82 ページの「ダイヤルアップ接続時の電話番号について」を参照して設定を変更してから、操作をやり直してください。
4. 接続を実行するには、[接続] をタップします。
   - 画面に接続中を示すダイアログが表示されます。
   - 接続が完了するとこのダイアログは自動的に閉じ、続いてデータの同期が自動的に開始されます。
   - 接続状態は、タスクトレイのアイコン表示 ( ) で確認できます。

接続を切るには

接続を切るには、タスクトレイ上の接続アイコン ( ) をダブルタップすると表示される画面上で [切断] をタップしてください。

受信トレイやActiveSyncから接続した場合は、切断の操作を行わなくても、接続は自動的に切れます(受信トレイでは、自動的には切れないようにする設定も可能です)。

第 6 章 Windows CE サービスとチャンネル

Windows CEサービスをパソコンにインストールすることで、パソコンとパームサイズ PCの間でデータの同期を行うことができます。具体的には、次のようなことが可能となります。

(1) パームサイズ PC上のポケットアウトルック(予定表、連絡先、仕事、受信トレイ)の情報と、パソコン上の Microsoft® Schedule+ for Windows® 95 や Microsoft® Outlook™ 98 for Windows® などの情報を同期できます。

また、カシオ製のアプリケーションである「モバイルスケジュール」、「モバイル住所録」のデータも、パソコン上のこれらのソフトとの間での同期が可能です。

(2) パソコン上の Microsoft® Internet Explorer 4.0 で購読したチャンネル情報を、パームサイズ PC にダウンロードして閲覧できます。

(3) パームサイズ PC にプログラムをセットアップできます。

(4) パームサイズPCとパソコンの間で、相互にファイルの転送を行うことができます。また、パソコン側から、パームサイズ PC上のファイル操作やフォルダ操作を行うことができます。

(5) パームサイズPCのデータをパソコンにバックアップしたり、バックアップしたデータをパームサイズ PC に復元できます。

本章では、これらの Windows CE サービスの機能のうち、(1) 〜 (3) について説明します。(4)、(5) については、第 7 章で説明します。

NOTE

「モバイルスケジュール」、「モバイル住所録」の各アプリケーションについては、「CASSIOPEIA アプリケーションガイド」を参照してください。

■Windows CEサービスを使う

Windows CEサービスのActiveSyncを利用することで、パソコンとパームサイズPCの間で各種の情報を簡単に同期することができます。

Windows CEサービスのインストールとパートナー設定

ここでは、Winows CEサービスのパソコンへのインストールと、インストールに引き続き行う必要がある「パートナー設定」の手順を説明します。

インストールの前に

パソコンにWindows CEサービスをインストールする前に、必ず以下の各項目をご確認ください。

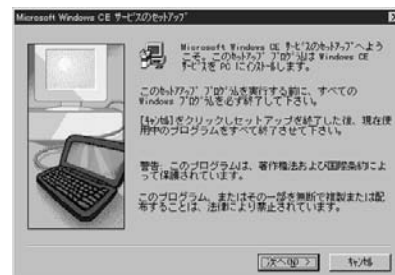
- Windows CEサービスのインストールの完了後、PCの再起動を行います。PC上で他のソフトが起動している場合は、必要なデータを保存した上で、すべて終了しておいてください。
- インストールの完了後に、Windows CEサービスはパソコンに接続されているパームサイズ PC を COM ポート上に検索し、自動的に通信設定を行います。このため、パームサイズ PCをあらかじめパソコンに接続しておく必要があります。パームサイズPC とパソコン間の接続のしかたについては、別冊のハードウェア取扱説明書を参照してください。
- ケーブル接続でなく赤外線通信を使って同期を行いたい場合でも、Windows CEサービスのインストール時はケーブル接続でセットアップを行ってください。赤外線通信を使った同期については、Windows CE サービスのヘルプを参照してください。
- サービスパックを導入済みの Windows NT に Windows CE サービスをインストールする場合、インストールの途中でサービスパックの再インストールを促すメッセージが表示されます。一度パームサイズ PC との接続を行った上で、通信がうまくいかない場合には、再度サービスパックのインストールを実行してください。
  Windows NT の場合、Administorator(管理者)でなければインストールできません。

NOTE

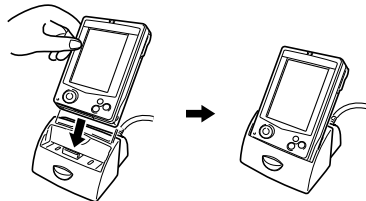
Windows CE サービスは、Windows CE 1.0 を搭載したハンドヘルド PC との間でデータの転送や同期を行うことはできません。また、Windows CE 1.0のハンドヘルド PCに付属の「H/PCエクスプローラ」と Windows CE サービスを、同時に 1 台のパソコンにインストールすることはできません。

インストールの手順

Windows CE サービスのインストールは、次の手順で行います。

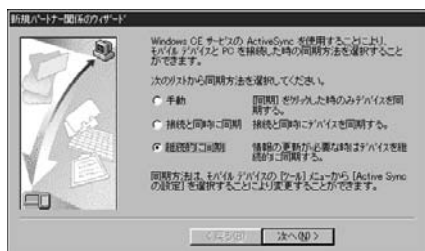
1. パソコンの CD-ROM ドライブに、付属の Windows CE の CD-ROM をセットします。
   - 「Microsoft Windows CE サービスのセットアップ」の画面が表示されます。

2. 画面の指示に従って、Windows CE サービスをパソコンにインストールします。

3. パソコンを再起動するように促すメッセージが表示されますので、［終了］のボタンをクリックします。
   - パソコンが再起動すると、次のような画面が表示されます。
   - パソコンの環境によっては再起動の必要がない場合があります。この場合［次へ］のボタンをクリックすると、すぐに次のような画面が表示されます。

4. パームサイズ PC の電源を切った状態で、パームサイズ PC をクレードルに乗せます。
   - しっかりと差し込んでください。

5. パームサイズ PC の電源を入れてから、パソコンの画面上の［開始］ボタンをクリックします。
   - Windows CE サービスは自動的にパームサイズ PC が接続されている COM ポートを検索し、通信設定を行います。

   - Windows NT に Windows CE サービスをインストールした場合、パームサイズ PC 上で Windows NT にログオンするためのユーザー名とパスワードの入力が必要です。パームサイズ PC の画面上に入力ダイアログが表示されたら、自分のユーザー名とパスワードをそれぞれ入力してください。
   - もし、「パームサイズPCが見つかりません」というメッセージが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして一度作業を中止した上で、手動で通信設定を行ってください。

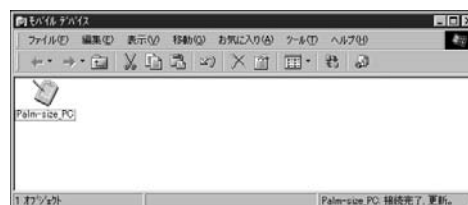
6. Windows CE サービスが通信設定を完了すると、以下の画面が表示されます。「デバイス名」の欄にパームサイズ PC の名前を入力します。

7. 入力が済んだら［次へ］をクリックします。以下の画面が表示されます。

   - この画面では「同期方法」を選択します。ここでは、ひとまず初期設定の「継続的に同期」にしておくと良いでしょう。

8. 入力が済んだら［次へ］をクリックします。以下の画面が表示されます。

   - この画面では、何を同期するかを指定します。
   - 手順 7 ～ 8 の設定項目は、後で変更することができます。詳しくは「ActiveSync の設定」（105 ページ）を参照してください。

9. ［完了］をクリックします。
   - パームサイズ PC とパソコンとの間で、初回の同期が開始されます。パソコン上の Outlook（または Schedule+）上に登録されている予定表、連絡先、仕事のデータと、パームサイズ PC 上の同名のプログラムのデータが同期されます。

10. 初回の同期が完了すると、以下のウィンドウが表示されます。

   - これをモバイルデバイスウィンドウと呼びます（詳しくは 96 ページの「モバイルデバイスウィンドウを使う」を参照してください）。

NOTE
パソコンは、複数の Windows CE デバイス（Windows CE2.0 日本語版を搭載したパームサイズ PC またはハンドヘルド PC）との間でパートナー設定を行うことができます。また、パームサイズ PC は、2 台の PC（例えば会社の PC と自宅の PC など）と同時にパートナー設定を行うことができます。

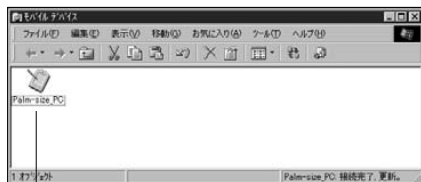
Windows CE CD-ROMのオプションコンポーネントについて

Windows CE の CD-ROM からは、以下のようなオプションコンポーネントをパソコンにインストールすることができます。

- 赤外線通信ドライバ。Windows CE サービスとパームサイズ PC の間での通信を、赤外線ポート経由で行う場合に、インストールが必要です。インストールおよび設定方法については、Windows CE サービスのオンラインヘルプを参照してください。

モバイルデバイスウィンドウを使う

モバイルデバイスウィンドウとは、Windows CEサービスのウィンドウのことです。このウィンドウ上では、パソコンに接続されているパームサイズPCなどのモバイルデバイスを、ちょうどネットワークコンピュータを扱うのと同じように扱うことができます。

Windows CEサービスをインストールすると、PCのデスクトップ上に「モバイルデバイス」という名前のショートカットが作成されます。Windows CEサービスを起動するには、このアイコンをダブルクリックするか、スタートメニューから［プログラム］→［Microsoft Windows CEサービス］→［モバイルデバイス］の順にクリックしてください。

このアイコンが、パートナーとして設定したあなたのパームサイズPCです。セットアップ時にパームサイズPCに付けた名前で表示されます。

モバイルデバイスウィンドウでは、次の操作ができます。

- パームサイズ PC のアイコンをクリックして選択した状態で、［ツール］メニューから［ActiveSyncの設定］を選択することで、各種の同期オプションの設定を行うことができます。設定についての詳細は、105ページの「ActiveSyncの設定」を参照してください。

- パームサイズ PCのアイコンをダブルクリックすると、エクスプローラウィンドウを表示することができます。

このウィンドウでは、パームサイズPC上のファイルのコピーや移動、フォルダの作成や名称変更などを行ったり、パームサイズPCとパソコンの間でのファイルのコピーを行うことができます。操作についての詳細は、第7章の「ファイルの転送とデータのバックアップ」を参照してください。

通信設定を変更する

Windows CEサービスのインストール後の自動検索で、Windows CEサービスがパームサイズPCを見つけることができなかった場合や赤外線通信による同期を行いたい場合などには、通信設定を手動で変更する必要があります。
通信設定の変更を行う前に、以下の点をご確認ください。

- パソコン上で、他のデバイスとの通信に使われていないCOMポートを、パームサイズ PC との通信用に選択していること。
  Windows CE サービスは、「Windows CEサービスのプロパティ」（後述）で指定されているCOMポートと、Windows ダイヤルアップアダプタの両方を、パームサイズ PCとの接続のために利用します。これらに関わるリソースが、Windows CEサービスから利用可能であることを確認してください。Windows CE サービスとパームサイズ PC が接続中の状態では、他のプログラムからこれらのリソースを利用することはできません。

- パソコン上で設定されている通信速度と、パームサイズPC上で設定されている通信速度が一致していることをご確認ください。

Windows CE サービスの通信設定は、「Windows CE サービスのプロパティ」のウィンドウ上で確認／設定変更を行います。このウィンドウは、モバイルデバイスウィンドウ上で［ファイル］メニューから［通信］を選択することで開くことができます。

パームサイズPCとの通信に利用するCOMポートを変更したい場合は、ここをクリックします。

通信速度をここでチェックしてください。

パームサイズPC上の通信速度は、初期設定では19,200bpsになっています。パソコンの通信速度をこれに合うように変更するには、スタートメニューから［設定］→［コントロール］パネルを選び、表示されるコントロールパネルのウィンドウ内の［システム］アイコン（Windows 95/98の場合）または［モデム］アイコン（Windows NTの場合）をダブルクリックしてください。設定についての詳細は、Windows CE サービスのヘルプを参照してください。

パームサイズPCの通信速度を変更する場合は、パームサイズ PC 上で［スタート］→［設定］→［通信］の順でタップし、［PCとの接続］タブをタップしてください。［接続の変更］ボタンをタップして表示される画面上で、通信速度を選択してください。

パームサイズPCとパソコン間での情報の同期

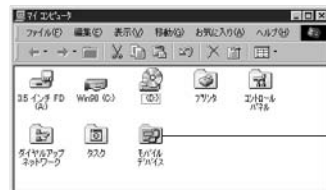
パームサイズ PC とパソコンとの間で「同期」を行うことで、双方に登録されている情報を常に最新の状態に保っておくことができます。本章ですでに説明したように、同期はパソコン上の Windows CE サービスによって可能となります。

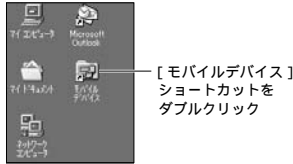
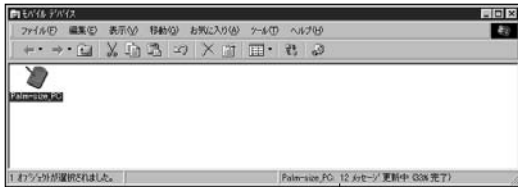
同期により次のことが行われます。

- **パソコンまたはパームサイズPC上の一方でデータの追加や変更を行うと、その追加／変更が同期によって他方にも反映されます。**
- **パソコンまたはパームサイズPC上の一方でデータを削除すると、他方のデータも同期によって削除されます。**

同期は、Windows CE サービスのインストール時に行った設定（94ページの手順7の設定）に従って行われます。初期設定の「継続的に同期」、または「接続と同時に同期」にしておいた場合は、パームサイズ PCをクレードルに乗せるだけでデータの同期が実行されます。

もし、Windows CE サービスのインストール時に「手動」を選択した場合は、まずWindows CEサービスを起動した上で、同期の操作を行う必要があります。Windows CE サービスの起動は、次のいずれかの方法で実行します。

- パソコン上の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、［モバイルデバイス］フォルダをダブルクリックします。

［モバイルデバイス］フォルダをダブルクリック

- デスクトップ上の［モバイルデバイス］ショートカットをダブルクリックします。

パームサイズPCとパソコンの間で同期を実行するには、モバイルデバイスウィンドウ上の［ツール］メニューから［同期］を選択してください。
同期中は、モバイルデバイスウィンドウの右下部分に、同期の進行状態が順次表示されます。

ここに同期の進行状態が表示されます。

NOTE
同期には、同期するデータ量によりますが、通常 1 分〜数分程度かかります。

同期の状態表示について
パームサイズPCとパソコンの間での同期が完了すると、モバイルデバイスウィンドウのステータスバーに「Palm-size PC 接続完了、更新。」と表示され、同期の完了を確認できます。

また、同期状態の詳細を確認したい場合は、モバイルデバイスウィンドウの［ツール］メニューから［ActiveSync の状態］を選択します。

［ActiveSync の状態］ウィンドウ

同期される情報について
ここでは、Windows CE サービスを使ってパソコンとパームサイズ PC の間で同期される各種の情報についての概要を説明します。個別の同期アイテムの詳細については、Windows CE サービスのヘルプを参照してください。
初期設定状態では、連絡先、予定表、仕事のデータが同期されるようになっています。同期するデータの変更方法については、105 ページの「ActiveSync の設定」を参照してください。

●連絡先、予定表、仕事
パームサイズPC上の各プログラムのデータは、以下の対応でパソコン上の Schedule+ または Outlook のデータと同期されます。

パームサイズ PC	パソコン（Schedule+ または Outlook）
連絡先／モバイル住所録	連絡先
予定表／モバイルスケジュール	予定表
仕事	仕事

どちらか片方に登録された新規データは、同期時に他方にコピーされます。なお、パームサイズPC上のこれらの各プログラム上で入力した手書きメモは、Outlook 上にはメタファイル（ピクチャ）として保存されますが、Schedule + 上には保存されません。パームサイズPC上の連絡先、予定表、仕事の各プログラムの機能や操作などについては、第 4 章を参照してください。

●受信トレイ
パソコン上の受信トレイまたは Outlook に保存されている電子メールデータと、パームサイズPC上の受信トレイに保存されている電子メールデータの同期が行われます。パームサイズPCを使って直接メールの送受信を行っていない場合は、パソコン上の電子メールデータがパームサイズ PC 側に単純にコピーされます。初期設定では、各電子メールデータの最初の 50 行のみがコピーされます。また、添付ファイルはコピーされません。
パームサイズ PC 側で作成した送信メッセージはパームサイズ PC 上の送信トレイに保存され、同期時にパソコンの送信トレイにコピーされ、パソコンからの送信を行うことができます。
パームサイズPC上の受信トレイの機能や操作などについては第 4 章を参照してください。

●ファイル
パームサイズPC上のボイスレコーダーや手書きメモなどで作成したすべてのデータファイルは、パームサイズ PC 上の "My Documents" フォルダに保存されます。これらのファイルは、パソコン上のモバイルデバイスウィンドウで見ることができます。
ActiveSync の設定（105ページ参照）でファイルを同期するように設定すると、これらパームサイズ PC 上のファイルは、初回の同期時に、パソコン上の "Palm-size PC My Documents" フォルダにコピーされます（フォルダ名は、同期させるパームサイズPCの名前が "Palm-size PC" の場合です）。このパソコン上のフォルダは、以下の場所に置かれます。

Windows 95/98 の場合
My Documents\Palm-size PC My Documents

Windows NT の場合
WINNT\Profiles\< ユーザー名 >\Personal\Palm-size PC My Documents

2 回目以降の同期時には、パソコン上とパームサイズ PC 上の各フォルダの内容が比較され、双方向でファイルの同期が行われます。

ファイルの変換について
- 手書きメモファイルがパソコンにコピーされると、Microsoft Word ファイル（.doc）に自動的に変換され*、Microsoft Word による編集が可能となります。一方、デスクトップ上の Microsoft Word ファイルがパームサイズPC上にコピーされると、手書きメモファイル（.pwi）に自動的に変換され、手書きメモで開いたり編集することができます。このように手書きメモと Microsoft Word の間でデータのやりとりが可能ですが、すべての書式などがコピーされる訳ではありません。詳しくは Windows CE サービスのヘルプを参照してください。

  * 初期設定では Microsoft Word97 形式に変換されます。

- ボイスレコーダーのファイルは、パームサイズPCからパソコンにコピーされても .wav ファイルのままです。ただし、パームサイズPCから転送した .wav ファイルの再生には、Windows CE サービスのインストールによってパソコンに組み込まれるデコーダが必要です。（通常は意識する必要はありませんが、Windows CE サービスがインストールされていない PC 上では、パームサイズ PC から転送した .wav ファイルを再生することはできません。）

●チャンネル

チャンネルを同期するように設定しておくと、パソコン上の Microsoft Internet Explorer 4.0 で購読したチャンネル情報を、パームサイズ PC にダウンロードして閲覧できます。チャンネルについて詳しくは、109 ページの「チャンネルを使う」を参照してください。

データの「競合」とその解決について

データの「競合」は、前回同期されたデータ項目（例えば予定表のあるスケジュールデータなど）に対して、パソコン上とパームサイズ PC 上でそれぞれ別々に変更を加えてしまった場合に起こります。
競合が起きた場合の解決方法には、手動と自動の 2 通りがあります。

●手動による競合の解決

同期の際に Windows CE サービスがデータの競合を発見すると、パソコンの画面上にアラートメッセージが表示されます。アラートメッセージを確認した上で、あらかじめ指定した方法で競合を解決するか、しないかを指定することができます。

●自動で競合を解決

同期中に競合が発見されてもアラートを出さずに、パソコンまたはパームサイズPC上のどちらか片方のデータを強制的に採用するよう設定しておくことができます。

競合の解決方法を設定するには、モバイルデバイスウィンドウ上で［ツール］メニューから［ActiveSync の設定］を選択し、表示されるダイアログ上の［詳細］ボタンをクリックします。

ActiveSyncの設定

パソコンとパームサイズ PC の間でどのようにデータの同期を行うか、またどのデータの同期を行うかを変更することができます。
変更は次の手順で行います。

NOTE
以下の操作は、パームサイズ PC をパソコンに接続した状態でも、接続していない状態でも行うことができます。

1. PC のデスクトップ上の［モバイルデバイス］アイコンをダブルクリックし、モバイルデバイスウィンドウを開きます。
2. モバイルデバイスウィンドウ上で、パームサイズ PC のアイコンをクリックして選択します。

3. ［ツール］メニューから、［ActiveSync の設定］を選択します。
   - 以下のダイアログが表示されます。

ActiveSync の設定画面

「予定」のオプション画面

- オプション画面上での設定項目については、Windows CE サービスのヘルプを参照してください。オプション画面右上端の［？］ボタンをクリックして、カーソルが「？」になっている状態で、内容を知りたい設定項目上をクリックすると、説明が表示されます。
- 他のデータ項目についてのオプションを設定したい場合は、現在開いているオプション画面を一度閉じてください。

4. ダイアログ上で、希望の設定を行います。
   - 個別の設定項目については、Windows CE サービスのヘルプを参照してください。
   - ［詳細］ボタンをクリックすると、同期時に起きたデータの競合の解決方法を指定することができます。104 ページの「データの「競合」とその解決について」を参照してください。
5. 設定を保存するには、［OK］をクリックしてください。
   - ダイアログが閉じて、モバイルウィンドウに戻ります。

リモートコンピュータとの同期

パームサイズPCとパソコンの間で一度パートナー設定を行うと、パソコンへのダイヤルアップ接続による遠隔地からの同期を行うことが可能となります。ダイヤルアップ接続については、第５章を参照してください。

■チャンネルを使う

ニュースや株価情報、映画情報といった各種の情報は、インターネット上のホームページから入手することができます。「チャンネル」を利用すると、自分からホームページを見に行かなくとも、こうした情報をパームサイズPC上で閲覧することが可能となります。パソコン上のInternet Explorer 4.0で「モバイルチャンネル」コンテンツを購読することで、パソコンとパームサイズPCを同期するたびに、自動的にパームサイズ PC 上のコンテンツがアップデートされるようになります。

「チャンネル」とは、オフラインでの閲覧を目的としたコンテンツの自動配信を行っているウェブ・サイト、またはそのウェブ・コンテンツのことで、Internet Explorer 4.0 は自動配信の受け皿として機能します（ほかのブラウザでは自動配信を受けることはできません）。テレビの放送局や番組が「チャンネル」に相当し、Internet Explorer がテレビ受像器に相当すると考えてください。
コンテンツの更新は、ユーザーが設定した期間ごと（特に設定しなかった場合は配信側で初期設定されている期間ごと）にInternet Explorer 4.0によって自動的に行われます。

チャンネルについての情報は、Microsoft の専用サイトから入手することができます。パームサイズ PCでチャンネルの利用を始めたい場合は、パームサイズ PC と接続するパソコン上のInternet Explorer 4.0を使って、以下のサイトにアクセスしてください。

http://www.microsoft.com/japan/windowsce/channels

パームサイズPC上でチャンネルを起動するには

［スタート］メニューから［チャンネル］を選択してください。

チャンネルの同期

パソコン上の Internet Explorer 4.0 で購読したモバイルチャンネル・コンテンツをパームサイズ PC 上で閲覧するには、チャンネルの同期が必要です。チャンネルの同期は、Pocket Outlook などの情報の同期の際に、同時に行うことができます。
チャンネルを同期するには、パソコンのWindows CEサービスで［ツール］メニューから［ActiveSyncの設定］を選択して表示されるダイアログ上で、「チャンネル」にチェックマークを付けてください。
なお、コンテンツをパームサイズ PC 上のチャンネルで見るだけでなく、アクティブデスクトップ上に表示させることもできます。「アクティブデスクトップへのチャンネル情報の表示」を参照してください。

チャンネルの閲覧

パソコンとの同期により新しいチャンネルがパームサイズPC上にダウンロードされた場合は、パームサイズPCのタスクトレイ上にチャンネルアイコンが表示されます。

チャンネルアイコン

チャンネルを見るには、このアイコンをダブルタップしてください。

アクティブデスクトップへのチャンネル情報の表示

パームサイズ PC のアクティブデスクトップ上に、今日の予定や仕事などと共に、チャンネル情報を表示させることができます。
アクティブデスクトップ上にチャンネル情報を表示させるには、［スタート］メニューから［設定］－［画面］を選択して、表示されるダイアログ上で表示したい項目を選択してください。

NOTE
アクティブデスクトップ上に表示可能なチャンネル情報は、チャンネルの配信元が「モバイルデスクトップ構成ファイル」として配信している情報のみとなります。詳しくは配信元のホームページをご覧になるか、配信元にお問い合わせください。

第 7 章　ファイルの転送とデータのバックアップ

情報を同期することのほかに、Windows CE サービスを使えば、パームサイズ PC データのバックアップと復元、パームサイズ PC とパソコンの間でのファイルのコピーと移動、パームサイズ PC へのソフトウェアのインストールと削除が可能です。

データのバックアップと復元

Windows CE サービスを使って、パームサイズ PC データのバックアップをパソコンに定期的に取っておけば、万一パームサイズ PC 上の情報が破損したり失われたりしても、バックアップファイルを使ってデータを復元できます。

バックアップファイルには、パームサイズ PC 上のすべてのファイルと、Pocket Outlook データ、RAM ベースのプログラムが含まれます。バックアップを実行するには、モバイルデバイスウィンドウで、［ツール］－［バックアップ］ を選択するか、ツールバーの ボタンをクリックします。

バックアップのしかたの設定は、［ツール］－［バックアップ/復元］を選択すると表示される ［バックアップ / 復元のプロパティ］ダイアログ上で行います。

バックアップファイルを使ってパームサイズ PC にデータを復元するときは、すべてのデータが最後にバックアップしたときのデータに置き換えられます。復元を実行する前に、パームサイズ PC 上で別途保存しておきたいファイルがある場合は、そのファイルを先にパームサイズ PC からパソコンにコピーしておいてください（次の「ファイルのコピー」を参照）。

データを復元したら、パームサイズ PC の電源を切り、クレードルから取り外した上で、パームサイズ PC をリセットしてください（リセットのしかたについては、別冊のハードウェアマニュアルを参照してください）。

ファイルのコピー

パームサイズ PC とパソコンの間で、ファイルのコピーができます。

パソコンで、モバイルデバイスウィンドウを開きます。パームサイズ PC アイコンをダブルクリックすると、パームサイズ PC 用のエクスプローラウィンドウが開きます。

パームサイズ PC で作成したすべてのファイルは、初期設定では My Documents フォルダに格納されます。このフォルダを開き、パソコンと My Documents フォルダとの間で、ファイルをドラッグします。

パームサイズ PC に移動させたファイルは、そのファイルを開くことができるプログラムの画面上に表示されます。

NOTE

パームサイズ PC の My Documents フォルダの内容を、パソコン上で指定した特定のフォルダとの間で同期させることができます。詳しくは第 6 章を参照してください。

プログラムのインストールと削除

パームサイズ PC には、Microsoft® Windows® CE Operating System（以下 Windows CE）のソフトウェアプログラムを追加できます。インストールは、通常はパソコン上でセットアッププログラム等を起動して実行しますが、セットアッププログラムが付属していないプログラムもあります。このようなプログラムは、以下の方法でパームサイズ PC に手動でコピーします。なお、プログラムのインストール方法の詳細については、各プログラムに付属の説明書を参照してください。

パームサイズ PC にプログラムをコピーするには

1. PC のデスクトップ上の ［モバイルデバイス］ アイコンをダブルクリックし、モバイルデバイスウィンドウを開きます。
2. モバイルデバイスウィンドウ上で、パームサイズ PC のアイコンをダブルクリックして開き、Windows フォルダ→スタートメニューフォルダ→プログラムフォルダの順に開きます。

3. プログラムフォルダに、インストールしたい Windows CE プログラムを、パソコン側からドラッグしてコピーします。
4. プログラムを実行するには、パームサイズ PC 上で ［スタート］－［プログラム］をタップします。今コピーしたプログラム名がメニュー内に表示されますので、そのプログラム名を選択してください。

NOTE

この方法でインストールしても、動作しないプログラムもあります。プログラムをインストールする際は、必ずそのプログラムに付属の説明書や ReadMe テキスト等を参照してください。

パームサイズPC上のプログラムを削除するには
RAM 上に追加インストールしたプログラムを削除したい場合は、［スタート］－［設定］－［アプリケーションの削除］をタップします。

削除したいプログラムをタップして選択し、［削除］をタップしてください。

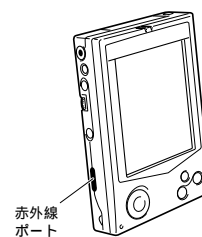
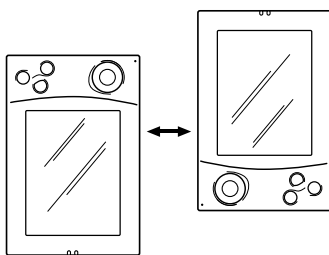
NOTE
- パームサイズ PC にあらかじめ搭載されているプログラムを削除することはできません。
- 手動でコピーしたプログラムは、「アプリケーションの削除」画面で削除することはできません。削除の方法は各プログラムに付属の説明書を参照してください。

赤外線通信でデータを転送する

パームサイズ PC は赤外線ポートを備えています。これを利用して、別のパームサイズ PC などの Windows CE デバイスに情報を転送できます。
例えば「連絡先」では、一度に最大25までのカードを転送できます。ボイスレコーダーと手書きメモでは、ファイル単位での転送が可能です。

手書きメモの赤外線送信メニュー

データの転送は、次の手順で行います。

1. パームサイズ PC と、相手先の Windows CE デバイスの赤外線ポートを向かい合わせます。

- 双方の距離が 30cm 以内になるようにしてください。

2. 送信側で、送信したいプログラムを起動し、送信したいアイテムを選択した上で、［ファイル］－［送る］－［赤外線の受信先］をタップします。
3. 受信側では送信側と同じプログラムを起動して［ファイル］－［受信］をタップします。
   - データの転送が開始されます。転送中は、画面に転送中の表示が出ます。転送が完了すると、画面上の表示と音で知らせます。

第 3 部　補足情報

第 3 部では各種の補足情報を提供します。

ヒントとトラブルシューティング

使用上のヒント

ここでは、バッテリを長持ちさせるための注意点やコツ、また、パームサイズ PC 上のデータの保護についてのヒントを示します。

バッテリを長持ちさせるには
パームサイズPCは持ち歩いて利用するための製品ですので、バッテリ寿命は非常に重要な問題です。バッテリ寿命は、使い方によってすぐに尽きることもあれば、長持ちさせることもできます。バッテリをより長持ちさせるためには、次のような点に留意してください。

●できるだけACアダプタを使う
可能な場合は、できるだけ AC アダプタを接続してパームサイズ PC を利用してください。特に次のような場合にはバッテリが消耗しやすくなりますので、AC アダプタでのご利用をお勧めします。

- ダイヤルアップ接続を行う場合
- パソコンに接続する場合
- コンパクトフラッシュカードや、その他の外部機器を利用する場合

●自動で電源オフするまでの時間を短めに設定する
初期設定では、バッテリ使用時の自動電源オフの時間（パームサイズPCの操作を行わなかった場合に自動的に電源が切れるまでの時間）は、3 分に設定されています。［スタート］－［設定］－［パワーマネジメント］をタップして表示される画面で［電源オフ］タブをタップし、バッテリ使用時の電源オフ時間をより短く設定することで、バッテリ寿命をのばすことができます。

●不要なサウンド設定をオフにする

初期設定では、いくつかのイベント（例えばパソコンとの接続時など）に応じてパームサイズPCから特定の音が鳴るように設定されています。音を出す必要がないと思われるイベントについては、音が鳴らないように設定しておくと良いでしょう。
［スタート］－［設定］－［ボリューム＆サウンド］をタップして表示される画面で［サウンド］タブをタップし、不要と思われるサウンド設定を削除してください。

●バッテリ警告が出たら、すぐにバッテリを充電する

タスクトレイにメインバッテリ消耗警告（）が表示された場合は、できるだけ早くメインバッテリの充電を行ってください。メインバッテリが消耗したままの状態で使い続けると、バックアップバッテリが急激に消耗してしまいます。また、バックアップバッテリ消耗警告（）が表示された場合は、できるだけ早くバックアップバッテリを交換してください。データのロスを防ぐためにも、常にバッテリ警告に注意してください。
なお、タスクトレイ上のバッテリアイコンについて詳しくは、「タスクトレイアイコン一覧」を参照してください。

●画面の明るさを調整する

画面の明るさを明るくして使うと、バッテリが消耗します。画面上の［スタート］ボタンをタップし、表示されるメニューから［プログラム］→［ユーティリティ］→［コントラスト＆明るさ］の順にタップします。表示される画面上で「明るさ」タブをタップし、画面の明るさを暗めに設定することで、バッテリ寿命をのばすことができます。

●画面の明るさの減光設定を行う

一定時間本機の操作を行わない場合に、画面の明るさを自動的に減光するよう設定しておくことができます。設定するには、画面上の［スタート］ボタンをタップし、表示されるメニューから［プログラム］→［ユーティリティ］→［コントラスト＆明るさ］の順にタップします。表示される画面上で「減光」タブをタップし、減光設定をすることで、一定時間本機の操作を行わない場合の画面の明るさを自動的に暗くすることが可能となります。

重要なデータを守るには

「データを守る」というときには、2つの意味があります。ひとつは個人情報を他人に不用意に見られないようにデータを守ること。もうひとつは、パームサイズ PC の故障や紛失などでデータがなくなってしまわないように、データを守ることです。次の各項にご留意ください。

●パスワードを設定する

パームサイズ PC 上のデータを他人に勝手に見られたりしないように、パスワードを設定すると良いでしょう。［スタート］－［設定］－［パスワード］をタップして表示される画面上でパスワードを入力し、「起動時にパスワードを入力する」にチェックを付けておきます。次回からは、電源を入れるたびに、Windows CE へのアクセスのためにパスワードの入力が必要となります。

ご注意

設定したパスワードを決して忘れないようにしてください。パスワードを忘れてしまうと、フルリセットをする以外に再びパームサイズ PC を利用する方法はありません。フルリセットをするとパスワードのデータが削除されますが、同時にパームサイズ PC 上のすべてのデータが失われてしまいます。

●データのバックアップを作成する

万一パームサイズ PC が故障したり、誤った操作でデータを削除してしまったような場合でも、パソコン上にデータのバックアップを作成しておけば安心です。Windows CE サービスのバックアップ機能を使って、定期的にパームサイズ PC 上の全データのバックアップを作成しておくことをお勧めします。データのバックアップについては、第 7 章を参照してください。
また、「カードバックアップツール」を利用すると、コンパクトフラッシュカードに簡単にバックアップを作成することができます。

その他のヒント

●電子メールを受けた相手先に、自分の名前を表示するには

受信トレイ上のサービスメニューから[プロパティ]を選択し、リターンアドレス欄に　" 自分の名前 "<xxx@xxx.xx.jp>　と入力します。

NOTE

サーバーによっては相手先(宛先)の電子メールアドレスを <yyy@xxx.xx.jp> と <> でくくり、入力する必要があります。

トラブルシューティング

パームサイズ PC を利用する上で何か問題にぶつかった場合は、ここをお読みください。

NOTE

- Windows CE サービスの利用上の問題については、Windows CE サービスのヘルプを参照してください。また別冊のハードウェア取扱説明書の「故障かな？と思ったら」も必要に応じてお読みください。
- 以下の説明の中でたびたび出てきますが、パームサイズ PC の「リセット」の操作については、別冊のハードウェア取扱説明書を参照してください。

ダイヤルアップ接続に関する問題

パームサイズ PC をデジタルデジタル携帯電話や PHS とつないだり、モデムカードを使って一般の電話回線につないでダイヤルアップ接続を行う際に、起こりやすい問題について説明します。

●「ポートを使用できません」というエラーメッセージが出る

【考えられる原因】
- デジタル携帯電話や PHS を利用している場合はケーブルがしっかりと接続されていないことが考えられます。また、モデムカードを利用している場合は、モデムカードがコンパクトフラッシュカードスロットにきちんと差し込まれていないことが考えられます。
- 接続に使用している接続アイコンの「ダイヤルアップ接続のプロパティ」上の設定で、ダイヤルアップ接続に使うモデムが正しく設定されていないことが考えられます。

【対処】
- ケーブルの接続状態やモデムカードの装着状態を確認してください。
- ダイヤルアップ接続のプロパティ上で、正しいモデムが選択されているかをご確認ください。デジタル携帯電話の場合は「PDC Plug-In Modem」、PHS の場合は「PHS Plug-In Modem」、モデムカードの場合はそのモデムカード名を選択する必要があります。

●「キャリアが検出されませんでした」というエラーメッセージが出る

【考えられる原因】
- デジタル携帯電話や PHS の電源が入っていないことが考えられます。モデムカードを利用している場合は、モデムカードに電話回線が正しく接続されていないことが考えられます。
- モデムカードを使用している場合、接続している電話回線がアナログ回線でないことが考えられます。
- 電話番号が間違っている、またはダイヤルパターンの設定が間違っていることが考えられます（例：0 発信になっているなど）。

【対処】
- デジタル携帯電話や PHS を利用している場合は、電源が入っているかを確認してください。また、ご利用の機種による問題も考えられますので、ご利用のデジタル携帯電話または PHS に付属の説明書もお読みください。
- モデムカードを利用している場合は、モデムカードが正しく電話回線に接続されているかをご確認ください。また、モデムカードが正しく電話回線に接続されているのにうまくいかない場合は、電話回線に問題がある可能性があります。モデムカードを使って通信可能な回線はアナログ回線のみです。デジタル回線に接続していないかをご確認ください。
- ダイヤルアップ接続を行う際の画面上に、正しい電話番号が表示されているかをご確認ください。「ダイヤルアップ接続時の電話番号について」（82 ページ）もご参照ください。

●接続が不安定

【考えられる原因】
- 電池が消耗していることが考えられます。
- 接続に利用している電話回線にキャッチホンが設定されていることが考えられます。
- 電波の弱いところでデジタル携帯電話や PHS を使っていることが考えられます。

【対処】

- 電池を充電するか、ACアダプタをご利用ください。特に、モデムカードを利用している場合には、ACアダプタのご使用をお勧めします。
- 接続に利用している電話回線にキャッチホンが設定されていると、電話の着信のたびにダイヤルアップ接続は切れてしまいます。
  ダイヤルアップ接続中にキャッチホンを無効にするには、［スタート］－［設定］－［ダイヤル］をタップして表示される画面上で「キャッチホン機能の解除」にチェックマークを付けた上で、「ダイヤル」の欄にキャッチホン解除のためのダイヤル番号*を入力してください。
  * 解除のためのダイヤル番号については、キャッチホンの契約先にお問い合わせください。

赤外線通信に関する問題

パームサイズPCどうし、またはパームサイズPCとその他のWindows CEデバイスとの間での赤外線通信がうまくいかない場合は、次の点に注意して、ファイルやデータの転送を行ってみてください。

- １回の通信で転送するデータは、ファイルの場合は1ファイルずつ、連絡先のデータの場合は25アイテムずつにしてください。
- 赤外線ポートはまっすぐに向き合うようにしてください。また、各デバイスの赤外線ポートの間隔は、30cm以内にしてください。
- 赤外線ポートの間には、何も置かないでください。
- 赤外線通信は、部屋の照明に影響を受ける場合があります。特にある種の蛍光灯下では、通信がうまくいかない場合があります。他の場所に移動するか、照明を消して試してみてください。

ご注意

日本語版以外のWindows CEを搭載したデバイスや、Windows CE2.0より前のバージョンを搭載したデバイスとの間では、赤外線通信はできない場合があります。

画面表示に関する問題

●画面に何も表示されない

電源ボタンを押してもパームサイズPCに反応がない場合は、電源ボタンを1秒以上押し続けてみてください。それでも画面に何も表示されない場合は、次をご確認ください。

- 本体背面の電池のフタがきちんと閉まっており、電池フタ開閉スイッチが「LOCK」の位置になっているかをご確認ください。
- メインバッテリを充電してみてください。
- 以上を行ってもうまくいかない場合は、リセットの操作を実行してください。

●画面が暗い

次のことが考えられます。

- 長時間タッチスクリーンを直射日光下に置いた場合。液晶が一時的に暗くなることがありますが、しばらくすると元に戻ります。
- コントラストを調節してみてください。取り消しボタンを押しながらカーソルボタンを下に押すとコントラストが淡くなります。
- 画面の明るさを調節してみてください。取り消しボタンを押しながら、カーソルボタンの右キーを押すと、画面が明るくなります。

●画面上の文字を大きくしたい

手書きメモでは、ズーム機能を使って画面のサイズを大きくすることができます。予定表、仕事、連絡先の各プログラム上では、［ツール］－［オプション］で表示されるオプションダイアログ上の「大きいフォントを利用する」にチェックマークを付けることで、画面上の表示フォントを大きくすることができます。

本体の反応に関する問題

●スタイラスでの操作が思うようにいかない

ボタンをタップしたつもりなのに反応しなかったり、タップした位置通りの反応をしなくなった場合は、タッチスクリーンの再補正が必要です。［スタート］－［設定］－［スタイラス］をタップして表示される画面上で［再補正］ボタンをタップして、画面の指示に従って最補正を実行してください。

●動作がにぶくなったり、反応しなくなった

まず、別冊のハードウェア取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をご参照ください。必要な場合は、リセットの操作を実行してください。

その他の問題

●パスワードを忘れてしまった

残念ながら、パスワードを忘れてしまうと、フルリセット（メモリの初期化）をする以外に再びパームサイズPCを利用する方法はありません。

●メモリ異常のため、本機が正常に動作しなくなった

画面上に「メモリ内容の一部に不正な状態を検出しました…」というメッセージが表示された場合は、本機を正常な状態に戻すためにフルリセットの操作が必要となります。

●Windows CEサービスを使ってパームサイズPCのリードオンリーファイルを上書きできない。

Windows CEサービスを使って、パームサイズPC上の該当ファイルを削除した後、再度コピーを行ってください。

●カードバックアップツールを使用していてエラーメッセージが表示された。

表示されたメッセージに従って対処してください。

●パームサイズPCの時刻がずれる。

接続するパソコンの時計が正しい時刻に設定されているかご確認ください。

以上のような場合や、本体に問題はないがメモリの内容を完全に消去して本機を初期状態に戻したいような場合には、フルリセット（メモリの初期化）を実行してください。

フルリセットを実行すると、パームサイズPC上に入力したすべてのデータや、本体のRAMに追加インストールしたプログラムなどのデータはすべて失われ、各種の設定はすべて初期状態に戻ります。フルリセットの操作については、別冊のハードウェア取扱説明書をご参照ください。

タスクトレイアイコン一覧

パームサイズのタスクトレイには、次のようなアイコンが表示されます。それぞれのアイコンは、パームサイズPCの状態を表示します。

バッテリと電源に関するアイコン

アイコン	意味
	バックアップバッテリが消耗しています。
	メインバッテリが消耗しています。
	ACアダプタから電源を供給されています。

接続に関するアイコン

アイコン	意味
	ダイヤルアップ接続中です。
	ケーブル接続中です。

パソコンに表示される同期アイコン

以下のアイコンは、パームサイズPCとパソコンを接続した際に、パソコンのタスクトレイ上に表示されるアイコンです。

アイコン	意味
	パームサイズPC（またはその他のWindows CEデバイス）が接続されたことを示します。
	デバイスの接続待機状態です。
	現在デバイスの接続ができません（Windows CEサービスのプロパティの設定によります）。
	同期のエラーが起きました。
	パームサイズPCとパソコン上で同期されていないデータがあります。
	同期中です（同期中は、矢印が動きます）。
	パームサイズPCとパソコン上のデータが同期した状態になっています。

用語集

- この用語集は、本マニュアル中で出てくる用語について解説したものです。パームサイズPCを扱う上での意味を解説しているため、一般的な説明でない部分も含まれています。
- 説明文中で「*」印が付いている用語は、この用語集の中に見出しとして含まれている言葉です。

アルファベット

ActiveSync　パームサイズPCとパソコンの間で同期を実行するための、Windows CEサービスの機能です。通常は、パームサイズPCをクレードル*に乗せるだけでActiveSyncが起動するため、その存在を意識することはあまりありません。なお、パームサイズPC上のActiveSync（［スタート］－［プログラム］－［通信］－［ActiveSync］）は、リモート接続*時などにパームサイズPC側から接続先のコンピュータのActiveSyncを起動させるためのプログラムです。

COM ポート　パソコンが、外部機器との間で通信（データの転送）を行うための端子です。通信ポート、シリアルポートなどとも呼びます。通常パソコンはCOMポートを複数備えており、COM1、COM2のように番号を付けて識別します。

IR ポート　→赤外線通信を参照

ISP　→インターネットサービスプロバイダを参照

Microsoft Pocket Outlook
パームサイズPCに内蔵されている予定表、連絡先、仕事、受信トレイの4つのプログラムの総称で、パソコン上のMicrosoft Outlook（またはSchedule+）との間でデータの同期が可能です。

PC リンク　パソコンとの接続を行うための、パームサイズPC上のプログラムです。［スタート］－［プログラム］－［通信］－［PCリンク］で起動します。

Pocket Outlook
→ Microsoft Pocket Outlookを参照

TCP/IP　"Transmission Control Protocol / Internet Protocol" の略称です。インターネット通信に使われるプロトコル（通信上の約束ごと）です。パームサイズPCがパソコンと通信する際には、このプロトコルを利用しています。

Windows CE サービス
パームサイズPCとパソコンの間で、各種データの同期*やファイルのコピーなどを行うための、パソコン上のプログラムです。パソコン上で、「モバイルデバイス*」アイコンをダブルクリック（または［スタート］－［プログラム］－［Microsoft Windows CEサービス］－［モバイルデバイス］を選択）することで起動できます。

ア行

インターネットサービスプロバイダ
インターネットへの接続サービスを提供している企業のことです。

カ行

クレードル　CASSIOPEIAに付属している、パソコンとの接続を行うための専用の台です。クレードルに直付けされているケーブルをパソコンのCOMポート*に接続し、CASSIOPEIAをクレードルに乗せることで、パソコンとCASSIOPEIAをシリアル接続*することができます。クレードルにはACアダプタを接続するための端子が付いており、クレードル経由でCASSIOPEIAに電源供給することもできます。

ゲスト　パートナー*ではないパソコンにパームサイズPCを接続する場合には、Windows CEサービスに「ゲスト」として接続することで、パソコンとパームサイズPCの間でのファイルの転送などを行うことが可能です。ゲストとして接続した場合は、同期*を行うことはできません。

コンパクトフラッシュカード
小型のフラッシュメモリカードで、パームサイズPCのカードスロットに差し込んで利用します。本体のデータ記憶用メモリと同様に、ファイルやプログラムなどを格納しておくことができます。また、メモリカード以外にも、コンパクトフラッシュカードタイプのモデムカードなどがあります。

サ行

サービスプロバイダ　→インターネットサービスプロバイダを参照

スタイラス　パームサイズPCのタッチスクリーン*の操作を行うための専用ペンをスタイラスと呼びます。

赤外線ポート　パームサイズPCに備わっている、赤外線通信*を行うためのインターフェースです。赤外線ポートを通じて、パームサイズPCどうしや、パームサイズPCとその他のモバイルデバイス*との間などで、無線でファイルの転送などを行うことができます。

赤外線通信　赤外線を使って無線でデータの転送などの通信を行う方法のことです。パームサイズPCには赤外線ポート*が一つ付いており、このポート同士を向き合わせて通信を実行することが可能です。

タ行

ダイヤルアップ接続
パームサイズPCを、電話回線を通じて遠隔地のコンピュータ（これをリモートコンピュータと呼びます）と接続するのが「ダイヤルアップ接続」です。パームサイズPC上では、ダイヤルアップ接続を行うための設定を、［スタート］－［プログラム］－［通信］－［リモートネットワーク］を使って実行します。

タッチスクリーン
パームサイズ PC の表示画面（スクリーン）は、スタイラス*で直接タッチして操作を行うための機能を兼ね備えているため、タッチスクリーンと呼びます。

タッチスクリーンの補正
タッチスクリーン*上でタッチした位置と実際の動作の間でずれがある場合に必要な操作です。パームサイズPCを最初に使う際に一度行う、画面上の十字マークを順次タップしていく操作が、タッチスクリーンの補正です。［スタート］－［設定］－［スタイラス］を選択して表示される画面上で実行することができます。

タップ　タッチスクリーン*上を、スタイラスで軽く1回つつく操作です。

ダブルタップ　タッチスクリーン*上の同じ位置を、スタイラスで連続的に2回つつく操作です。

通信ポート　→ COM ポートを参照

ドラッグ　タッチスクリーン*上でスタイラスを引きずる操作です。紙の上に鉛筆などで線を引くのと同じ要領です。

同期　パソコンとパームサイズPCの間で、各種のデータ（連絡先、予定表、仕事、受信トレイなどに登録されているデータ）やファイル（手書きメモやボイスレコーダーのファイル）などを、同じ状態に保つことを「同期」と呼びます。同期を行うためには、パソコン上にWindows CEサービス*をインストールした上で、パソコンとパームサイズ PC の間でパートナー設定*を行うことが必要です。どのデータを同期するかは、Windows CE サービスを使って設定することができます。

ハ行

パートナー設定
パソコンとパームサイズPCの間で各種のデータの同期*を行うために必要となるもので、パソコンに Windows CE サービス*をインストールする際に設定します。1台のパームサイズ PC は、2台までのパソコンとの間でパートナー設定を行うことができます。

バックアップ　パームサイズPC上のすべてのデータ（データ記憶用メモリに追加インストールしたプログラムを含む）の「コピー」を、一つのファイルにまとめて保存しておくことができるWindows CEサービス*の機能です。バックアップの機能によって作成されたファイルを「バックアップファイル」と呼びます。なお、CASSIOPEIAの「カードバックアップ」プログラムを使うと、コンパクトフラッシュカードに直接バックアップを作成することもできます。

バックアップファイル
→バックアップを参照

ファイル変換　Windows CE サービスを使ってパソコンとパームサイズ PC の間でファイルのコピーを行うと、一部のファイルは自動的に相手先で扱うことができる形式に変換されます。これがファイル変換です。例えばパームサイズ PC 上の手書きメモのファイル（.pwi）は、パソコン側にコピーすると自動的に Microsoft Word 97 形式のファイル（.doc）に変換されます。

フルリセット　→リセットを参照

ポケットアウトルック
→ Microsoft Pocket Outlook を参照

メールアカウント
銀行口座のことを英語で「アカウント」と言いますが、インターネットサービスプロバイダなどと契約することで、プロバイダのメールサーバ上に自分のメールボックスを持つこと（つまり、自分のメールアドレスを持っているということ）を「メールアカウントを持っている」と言います。

マ行

モデムカード　パームサイズPCでダイヤルアップ接続*を行うのに利用することができる、カード型のモデムです。CASSIOPEIA 用には、カシオ製の JK-710MC56 が用意されています（別売品）。

モバイルデバイス
Windows CE サービスを起動するためのアイコン名で、Windows CE サービス*をインストールすると、デスクトップ上にショートカットが作成されます。また、Windows CEサービスとの間で同期やファイル転送を行うことができる、Windows CEを搭載した製品の総称を「モバイルデバイス」と呼びます。

モバイルデバイスウィンドウ
Windows CE サービス*を起動したときに表示されるウィンドウを「モバイルデバイスウィンドウ」と呼びます。デスクトップ上の「モバイルデバイス*」アイコンをダブルクリックするか、［スタート］－［プログラム］－［Microsoft Windows CE サービス］－［モバイルデバイス］を選択することで表示されます。

ラ行

リストア　バックアップファイル*を使って、パームサイズ PC にデータを復元することをこう呼びます。

リセット　パームサイズ PC 上で Windows CE を再起動することです。CASSIOPEIAでは、本体背面のリセットボタンをスタイラスを使って押すことでリセットすることができます。リセットを行うことで、本体メモリに保存済みのデータが失われることはありません。一方、本体のメモリエラーなどから回復するために実行するメモリの初期化を「フルリセット」と呼び、リセットとは区別されます。フルリセットを行うと、パームサイズ PC 上に保存していたすべてのデータや、追加インストールしたプログラムなどはすべて消去されます。リセット、フルリセットについての詳細は、ハードウェア取扱説明書を参照してください。

リモート接続　遠隔地のコンピュータに、電話回線やLANなどを通じて接続することを、「リモート接続」と呼びます。パームサイズ PC を、遠隔地のパソコンとリモート接続することにより、両者間で同期*を実行することが可能です。

リモートネットワーク
パームサイズPC上のプログラムです。リモートネットワークを使うことにより、ダイヤルアップ接続*の設定などを行うことができます。［スタート］－［プログラム］－［通信］－［リモートネットワーク］を選択することで実行できます。

索引

CASIO

カシオ計算機株式会社

〒151-8543　東京都渋谷区本町1-6-2

再生紙を使用しています。

PN411274-001　MO0102-000006C　Printed in Japan